

令和 7 年度 仕様書

工事名称 仮称芳野市民センター新築電気設備工事

工事場所 川越市大字北田島 1 4 4 番地 1

【工事の概要】

仮称芳野市民センター新築に伴う電気設備工事である。

・電気設備工事 一式

本工事は、「週休 2 日制適用工事（現場閉所型）」の対象工事である。

[illegible]

《週休２日制適用工事（現場閉所型）に係る特記仕様書》

本工事は「週休２日制適用工事（現場閉所型）」の対象工事である。

本工事は、月単位の週休２日を採用している。週休２日を守れなかった場合は減額変更となります。

実施は、川越市週休２日制適用工事要領（建築工事）（令和６年１１月１日施行）によるものとする。

同要領は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認のこと。

技術管理課ホームページで確認のこと。

川越市総務部技術管理課ホームページ

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/sangyo/nyusatsu/1011724/1011747.html>川越市総務部技術管理課ホームページ

川越市

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
- 1.1 工事名 仮称芳野市民センター新築電気設備工事
- 1.2 工事場所 埼玉県川越市大字北田島144番地1
- 1.3 工期 契約日から令和年月日まで
現場施工期間 令和年月日から令和年月日まで
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することができる。
- 1.4 工事科目（○印の付いたものを適用する）

○ 電灯設備 ○ 動力設備 ・ 電熱設備 ・ 雷保護設備 ・ 受変電設備 ・ 電力貯蔵設備 ○ 発電設備 ○ 構内情報通信網設備 ○ 構内交換設備 ○ 情報表示設備 ・ 映像、音響設備 ○ 拡声設備（非常放送設備） ○ 誘導支援、呼出し設備	○ テレビ共同受信設備 ・ テレビ電波障害防除設備 ・ 監視カメラ設備 ・ 駐車場管制設備 ・ 防犯、入退室管理設備 ○ 自動火災報知設備 ・ 自動閉鎖設備 ・ ガス漏れ火災警報設備 ・ 電話配管設備 ・ 中央監視制御設備 ・ 医療関係設備 ・ 昇降機設備 ○ 機械警備用配管設備
---	---

- 1.5 指定部分 ○ 無 ・有（ 工期：令和 年 月 日）
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
- 1 専任期間の始期 請負契約締結の日から、（○現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間 ・令和 年 月 日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 2 専任期間の終期 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 3 専任期間の中断 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 1.7 建物概要 本体棟 RC造・2階建 外物置 S造・1階建
建築面積 570.49㎡ 建築面積 11.62㎡
延床面積 883.20㎡ 延床面積 11.62㎡
- 1.8 工事概要 仮称芳野市民センター新築に伴う電気設備工事一切を行う。
- 1.9 同時期発注の関連工事 仮称芳野市民センター新築工事
仮称芳野市民センター新築機械設備工事

2 工事仕様

- 2.1 共通仕様
- （1）この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
- なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
- （2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
- （3）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
- 2.2 特記仕様（特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。）

項 目	特 記 事 項
1 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その知断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
2 施工条件	施工時間 本工事は、「週休2日制適用工事(現場閉所型)」の対象工事である。実施は、川越市週休2日制適用工事要領(令和6年11月1日施行)によるものとする。 施工要領は、川越市総務部技術管理課ホームページによる。
3 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
4 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
5 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
6 監督員事務所	本工事で ・設ける（規模 ） ※設けない
7 保 険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
8 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
9 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する（契約金額による） ・ 適用しない
10 工事書類（写真）	本工事は、「川越市工事書類（写真）電子納品運用取扱基準」の対象工事である。取扱基準は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認のこと。
11 発生材処理	本工事における撤去発生材については、受注者の責任で構外に搬出し、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し適切に処理する。また、監督員にマニフェスト伝票を提出すること。
12 建設副産物実態報告について	受注時・完了時において建築副産物情報交換システムに情報を入力し、以下の書類を監督員に提出すること。 受注時：再生資源利用計画書、同促進計画書、工事登録証明書 完了時：再生資源利用実施書、同促進実施書、工事登録証明書 また、「再生資源利用（促進）計画」を公衆の見やすい場所に掲げること。

13	金属電線管の 塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。 ただし、見えかきり部の塗装については監督員の指示による。 壁等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。				
14	鍵					
15	地中電線路	(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。 <table><tr><th>敷き均し土</th><th>管 種 別</th></tr><tr><td>良質土</td><td>硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波打硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)</td></tr></table> (2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び3.5倍長標識シートを設ける。 (3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面から配管の上端まで原則、1200mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。	敷き均し土	管 種 別	良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波打硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)
敷き均し土	管 種 別					
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波打硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)					
16	回路の種別 先行の表示	ハンドホール、ブルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、先行の表示を行う。				
17	電線の接続	湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻くとする。 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。				
18	電線管の接続	屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじし工法としてもよい。				
19	接地工事	漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑／黄又は緑／色帯で区別する。				
20	建設発生土の 処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。				
21	再生砂・再生砕石 再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、表層以外において監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。 再生砂使用に先立ち、1 購入あたり1 検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。				
22	耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。				
設計用標準水平震度						
設置場所		機器種別	○特定の施設		・一般の施設	
			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
		防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階		水 槽 類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
		機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
		防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
		水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階		機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
		防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
		水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
【備 考】(※1)：水槽類には、オイルタンク等を含む。 重要機器 ・配電盤 ・発電装置(防災用) ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ○火災報知器受信機 ・中央監視装置 ○太陽光発電装置 上層階の定義は次による。 2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。						
23	あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。				
24	はつり及びあと 施工アンカー打設	電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。				
25	改修部分の足場	本工事で単独に必要なとなる足場は、下記により設ける。 (1) 内部足場 ※ 脚立足場 (2) 外部足場 ※ A種(枠組足場) ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 ※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。				
26	墜落制止用器具 (フルハネス型)	※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け基発0622第2号) による ・使用を要しない				

27 アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石棉障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
28 その他	（1）施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。 （2）本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。 （3）本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。 （4）本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。 （5）特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 （6）改修工事等を行う場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。 （7）受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。 （8）本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。 （9）特に騒音振動など周辺に基大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 （10）工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3 工事別一般事項（特記事項選択項目は、○印のついたものを適用する）

項 目	特 記 事 項
1 電灯設備	（1）配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は運用形とする。なお、2ロコンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 （2）照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防火による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 （3）照度測定 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 （4）分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継粒を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間に離れないように施工した場合は、継粒を必要としない。 （6）位置ボックスの省略 ケーブルこらがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略してもよい。
2 動力設備	（1）動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 （2）電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はLR1とする。
4 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 （端末処理 ・耐塩用 ・一般用 ） 受 電 電 圧 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 柱上用高圧気中 定格電圧 7.2kV 定格電流 A 負荷開閉器(PAS) 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 主 遮 断 装 置 動力用 kVA × 台 変圧器設備容量 電灯用 kVA × 台 高圧進相コンデンサ kVar × 台 直列リアクトル ・6％ ・13％ kVar × 台
5 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 電力貯蔵設備	・直流電源装置 ・交流無停電電源装置
7 発電設備	○ ディーゼル発電装置 ○ 太陽光発電装置

項 目	特 記 事 項
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備（非常放送設備）	（1）所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 （2）総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 （3）ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

- 2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ（mm）	
		一 般	
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300	
"（身体障害者用）	"	1,100	
"（人感センサー切換用）	"	2,000	
コネクタ、電話用7x11mm、直列コネクタ（一般）	"	300	
"（和室）	"	150	
"（台上）	"	150	
防水型コンセント	床上～中心	500	
分電盤、制御盤、開閉器箱	"	(上端1,900以下)1,500	
呼出ボタン（身体障害者用）	"	900	
復帰ボタン（"）	"	1,800	
廊下表示灯（"）	"	2,000	
端子盤	"	(上端1,900以下)1,500	

3 その他

- 3.1 他工事との取合区分
発注図又は工事区分表による。
- 3.2 図面上の縮尺
図面上の縮尺は、JIS A2、A3版とした縮尺とする。
- 3.3 疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議し、指示を受けること。
- 3.4 契約締結後、工事打ち合わせ用に設計図面を製本（A3二つ折り）し監督員へ6部提出すること。
- 3.5 請負契約金額が500万円以上の場合は、ワンダーレスポンスの対象工事とする。
- 3.6 工事実績情報の登録
受注者は、受注時、変更時、完成時、訂正時の各時点における請負代金額が500万円以上の工事については、工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、工事実績情報システム（コリンズ）に登録するとともに、一般財団法人日本建設情報総合センター発行の「登録確認書（登録データの一覧表を含む。）」の写しを速やかに監督員に提出しなければならない。
- 3.7 工事写真は施工前、施工工程及び完成後確認困難な箇所等を撮影し、整理のうえ、1部提出する。
- 3.8 中間検査
請負契約金額 1億円以上 原則2回
- 3.9 完成図書等
完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・適用しない
（1）完成図等の種類及び記入内容
完成(竣工)図（監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの）
提出部数 ※(A1版)製本 1部、(A3版)製本 1部
完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。
図面情報電子化媒体 ※CD-R又はDVD-R、1部
CADデータの形式 ・SXF(sfc) ※DXF ※DWG ※JWW
施設CADデータ ※更新して提出 ・更新しない
（埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。CADデータのバージョンは監督員と協議する。）
（2）施工図
提出部数 ※(A1版)製本 1部、(A3版)製本 1部
（3）保全に関する資料（通常取扱いに注意を要するもの）の使用方法を解説）
提出部数 ※2部
（注）工事目的物の引渡しに際して、建物を構成する部分で通常取扱いに注意を要するものについては、使用方法を解説したマニュアルを作成し、施設管理者へ引き渡す。
（4）完成写真（埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する）
原本及びアルバムを各1部提出
原本(電子媒体)及びアルバム(紙媒体又は電子媒体)を各1部提出

- （1）完成図等の種類及び記入内容
完成(竣工)図（監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの）
提出部数 ※(A1版)製本 1部、(A3版)製本 1部
完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。
図面情報電子化媒体 ※CD-R又はDVD-R、1部
CADデータの形式 ・SXF(sfc) ※DXF ※DWG ※JWW
施設CADデータ ※更新して提出 ・更新しない
（埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。CADデータのバージョンは監督員と協議する。）
（2）施工図
提出部数 ※(A1版)製本 1部、(A3版)製本 1部
（3）保全に関する資料（通常取扱いに注意を要するもの）の使用方法を解説）
提出部数 ※2部
（注）工事目的物の引渡しに際して、建物を構成する部分で通常取扱いに注意を要するものについては、使用方法を解説したマニュアルを作成し、施設管理者へ引き渡す。
（4）完成写真（埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する）
原本及びアルバムを各1部提出
原本(電子媒体)及びアルバム(紙媒体又は電子媒体)を各1部提出

官公庁等打ち合わせ機関 建築： 昇降機： 施設管理者： 電力会社： 電話会社： ケーブルテレビ会社： 消防本部：	
---	--

訂	月 日	事 項		
正				

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号	
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等

工事名称	仮称芳野市民センター新築電気設備工事	図面名称	電気設備特記仕様書	縮尺	A2:NS A3:NS	図面No.	E-001
作成	2025 年 2 月 17 日	承認		部長 _____	課長 _____	担当 _____	製図 _____
				設計No.			

項 目		A	E	M	G	備 考	項 目		A	E	M	G	備 考	項 目		A	E	M	G	備 考	項 目		A	E	M	G	備 考		
軀 体 関 係							仕 上 げ 関 係							屋 外 排 水 設 備 ・ 外 構							電 気 配 線 配 管								
1. R C造（梁・壁・床） の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け	☐	☐	☐			1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	☐					1. 雨水	屋外雨水排水設備（U字溝）				☐			機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）	☐				2次側		
	補強を要する型枠材及び取付け	☐						補強を要しないボードの切り込み		☐	☐					樹及び樹蓋				☐				機器付属の制御盤への電源供給配管配線	☐				1次側
	補強を要しない型枠材及び取付け	☐	☐	☐				開口部の墨出し		☐	☐					雨水再利用設備								自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線	☐				
	貫通孔・開口部の墨出し	☐	☐	☐			2. 既製間仕切り	切り込み及び補強	☐					雨水浸透トレンチ				☐			機器と付属操作スイッチの渡り配管配線		☐	☐			図面参照のこと		
	貫通孔・開口部の補強	☐						位置ボックス		☐	☐				屋外雑排水及び屋外汚水排水設備				☐				煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線						
	スリーブ・型枠の穴埋め	☐	☐	☐											樹及び樹蓋				☐	☐	天端調整はG		小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線						
														化粧マンホール上蓋の表面仕上げ				☐			注油口内アース端子よりのアース用配管配線	☐				自家発電はE			
2. S・SRC造・ 梁貫通口	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強						3. 吊ボルト及び インサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		☐	☐			外手洗い躯体、グレーチング				☐			遠方操作制御用配管配線(集中リモコン)			☐					
	使用されたスリーブの穴埋め							4. 外壁廻り	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	☐		☐		ガラリはA	3. 植栽	植栽及び客土					植栽工事				☐				
	予備スリーブの穴埋め								ウェザーカバー・ベンドキャップ			☐					同上排水管の接続(コン柱共)				☐								
									換気扇			☐																	
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	☐					5. 湯沸室廻り	流し台・吊戸棚・水切り棚・コンロ台	☐		☐		配管接続はM	4.ユニット形浄化槽の 躯体	ビット形の躯体及び砂充てん														
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		☐	☐				フード（標準詳細図のもの）								上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付等													
	室外・屋上の基礎	☐						流し台の排水トラップ			☐					ビット形以外													
	屋上の基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの（配管架台類）		☐	☐																									
	機器取付け用アンカー・架台		☐	☐		建築設計図にあるものはA	6. 浴室廻り	ユニットバス・シャワーユニット																					
	屋内受水タンク用の基礎							既製浴槽（蓋を含む）								5.その他	駐車場ガソリントラップ												
	空調屋外機用ファン工事							浴室及び便所の床排水金物									グリストラップ												
4. 昇降機関連	屋外機の据付架台			☐													☐												
	昇降路・機械室の躯体	☐					7. 便所廻り	洗面カウンター	☐					設備 関 連	1.空調設備	空調室外機・室内機への電源接続		☐				仮 設 工 事 関 係	※任意仮設						
	昇降路内ビット防水・集水槽・点検用タラップ	☐						鏡（規格寸法のみ）	☐		☐		特注寸法はA			空調リモコン線の配管・配線			☐					仮設用の上下水道・ガス・電気等の加入金	☐	☐	☐	☐	◎は取りまとめ役
	各階出入口穴あけ・同補強	☐						衛生器具			☐					空調リモコンの取付け			☐					仮設用の上下水道・ガス・電気等に要する費用	☐	☐	☐	☐	◎は取りまとめ役
	出入口扉・三方枠	☐					身障用手すり(一般トイレ)	☐								換気設備	換気機器への電源接続		☐					上記以外の工事及び調整等に要する上下水電気等に要する費用	☐	☐	☐	☐	◎は取りまとめ役
	三方枠取付け・枠廻り埋戻し・同補強	☐						バリアフリースイレバック (大便器・汚物流し、洗面器、手洗器、電気温水器 背もたれ、手摺、鏡、L型カウンター他標準付属品共)			☐					汎用手元スイッチの取付け		☐				上下水道・ガス・電気等の加入金、負担金					別途		
	昇降機がRC造の時、軌条・中間ビーム・ブラケット他昇降路内の鉄製部材一式	☐						ペーチェア、ペーシート	☐							24時間換気スイッチの支給			☐				仮囲い、共通足場、安全対策	☐					
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口	☐						紙巻器			☐					24時間換気スイッチの取付け		☐					養生、整理清掃後片付け	☐	☐	☐	☐	◎は取りまとめ役	
	昇降路がS造の時中層ビームブラケット受ベース	☐						取付下地補強	☐							3φ用コントロールスイッチ及びコントロールボックスの支給			☐				請負者事務所、下小屋、材料置場等 監督職員事務所	☐				備品等も含む	
	E V機械室からインターホンまでの配管配線工事			☐				手洗い・掃除流しの排水トラップ			☐					3φ用コントロールスイッチ及びコントロールボックスの取付け		☐					残材場外処分	☐	☐	☐	☐		
	E V機械室にビット点検用コンセント設置			☐			8. 事務室廻り	ファンコイルカバー								3φ用コントロールスイッチ及びコントロールボックスの取付け		☐					交通保安委員の手配	☐					
	インターホン、その他の機器（放送（一般・非常）までの配管配線工事 自家発電用電源誘導線・火災警報用伝達線・防犯カメラ等）用配管配線工事			☐					家具組み込みの洗面器								全熱交換器への電源接続			☐				本設電力引込み		☐			
	昇降路内の受電制御盤への動力電源、照明用電源およびアース線の引き込みならびにつなぎ込み工事 監視盤がある場合の監視盤用配管配線工事 （監視盤配置場所より昇降路最下層の制御盤位置まで引き込み） 昇降路頂部の煙感知器の設置工事（昇降路外部から保守点検可能な構造） （点検扉は、厚さ15mm以上の鉄板製）			☐					フロアパネル及び支柱	☐							全熱交換器スイッチの配管・配線			☐				本設受電後引渡しまでの基本料金、使用料	☐	☐	☐	☐	関連工事別 基本料金はE
リモートメンテナンス用として電話中継盤から昇降路までの配管（最小直径25mm）、配線工事			☐			9. フリーアクセスフロア	コンセント			☐					全熱交換器スイッチの取付け			☐				本設上下水道引込み			☐				
昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事			☐					床パネルの切り込み加工	☐							調理室関係3φ給気・排気ファンの電源接続				☐			本設後引渡しまでの上下水道料金	☐	☐	☐	☐	関連工事別 基本料金はM	
医療機器、放送用機器、コンピューター機器などの電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事			☐													調理室関係3φ給気・排気ファンの 免許制御・連動(動力盤面操作)							本設雨水排水引込み						
5. その他	トラフ・ビット類（蓋を含む）	☐					10.その他	2重ビット及びトレンチのマンホール蓋						3.ガス設備	ガス給湯器の電源（コンセント）							本設ガス引込み							
	湧水・汚水ビット・RC造各種水槽	☐						機器搬入用フック・ビーム									ガス給湯器リモコン線の配管・配線							本設電話引込み工事					
	同上用防水・マンホール・タラップ一式	☐						チェンブロック										機械設備で設置する制御盤の一次側電源接続		☐					工事上の各種申請、届出費用	☐	☐	☐	☐
	避雷設備・同接地工事							化粧マンホール上蓋の表面仕上げ	☐							上記制御盤の二次側配管・配線			☐				現場施工管理者との窓口及び総合調整の業務 近隣対策（お知らせ及び挨拶回り）	☐					
	A L C板の壁開口・補強							点検口（天井・床下）	☐							消火水槽の電極取付けと配管・配線(消火ポンプ二次側)							全体実施工程表及び全体仮設計画の作成 総合図の調整、手配	☐	☐	☐	☐	◎は取りまとめ役	
	厨房排水溝							排煙口等の天井仕上材の取付け								スリッパ・設備、高架水槽の電極取付けと配管・配線 （監視出力含む）							消防検査書類作成及び手続き	☐					
	厨房グリース阻集器							自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切り込み補強 及びドアチェッカー・フロアヒンジ															総合定例会場	☐	☐	☐	☐		
	オイルサービスタンクの防油堤							消火器B O X (壁埋込式) 設置工事	☐				消火器は別途	5.警報設備	機械設備で設置する制御盤の警報信号の端子台出力								総合定例会場議事録	☐	☐	☐	☐	◎は取りまとめ役	
								自動扉・電動シャッターへの電源配線接続および電源供給			☐					機械設備で設置する制御盤から警報盤までの配線と警報盤本体								各種定例分科会議事録	☐	☐	☐	☐	
								自動扉・電動シャッターから付属のスイッチ・センサーへの配管工事			☐																		

訂正

月 日

事 項

株式会社ユニバァサル設計

UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録

東京本部一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号

設計者

一級建築士 登録第362396号 星野 康二

法適合確認結果等

工事名称

仮称芳野市民センター新築電気設備工事

作成

2025 年 2 月 17 日

承認

図面名称

工事区分表

部長 課長 担当 製図

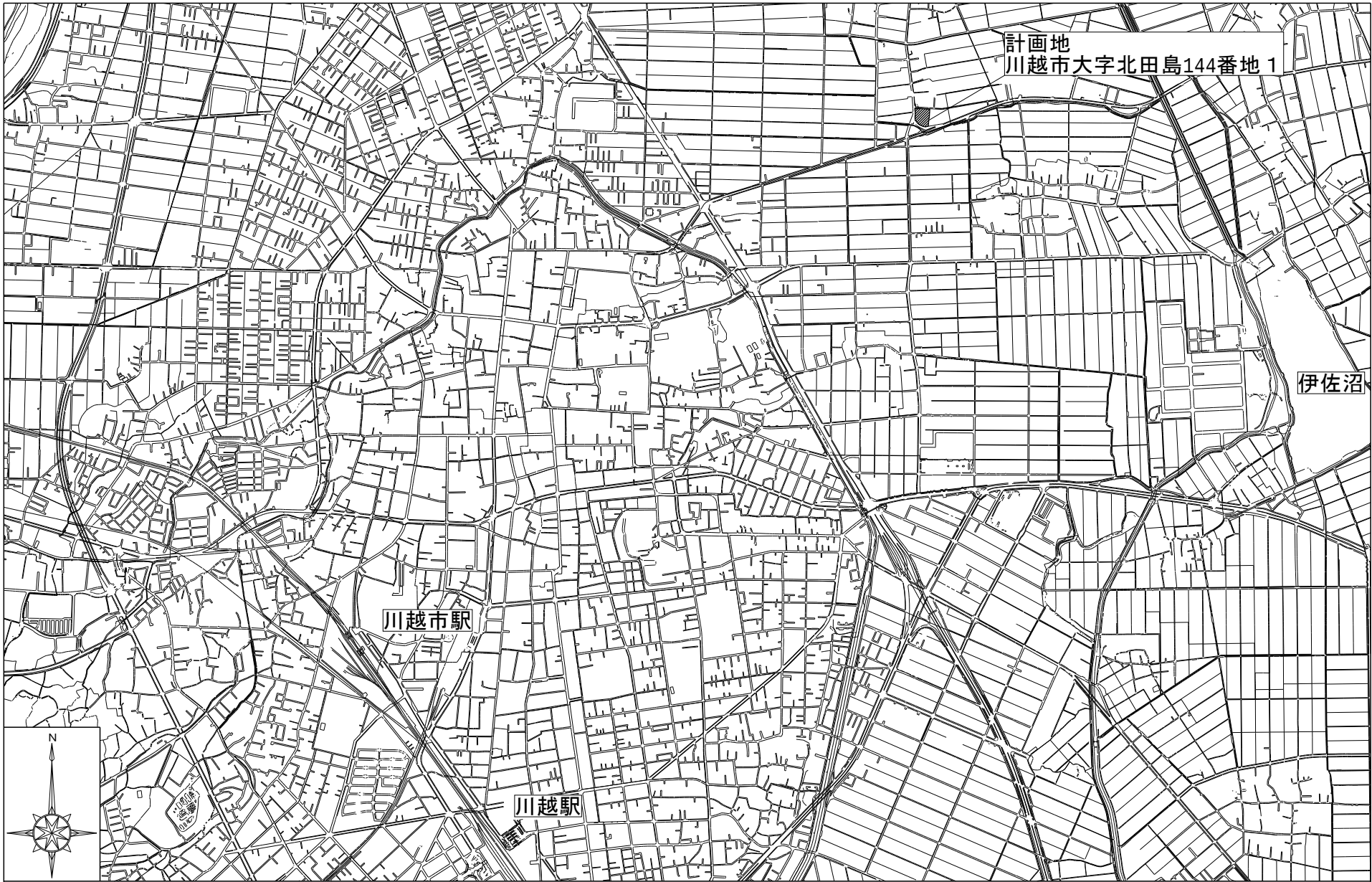
図面No.

A2: NS
A3: NS

設計No.

E-002

A: 建築工事
E: 電気設備工事
M: 機械設備工事
G: 外構工事



案内図 1/20,000

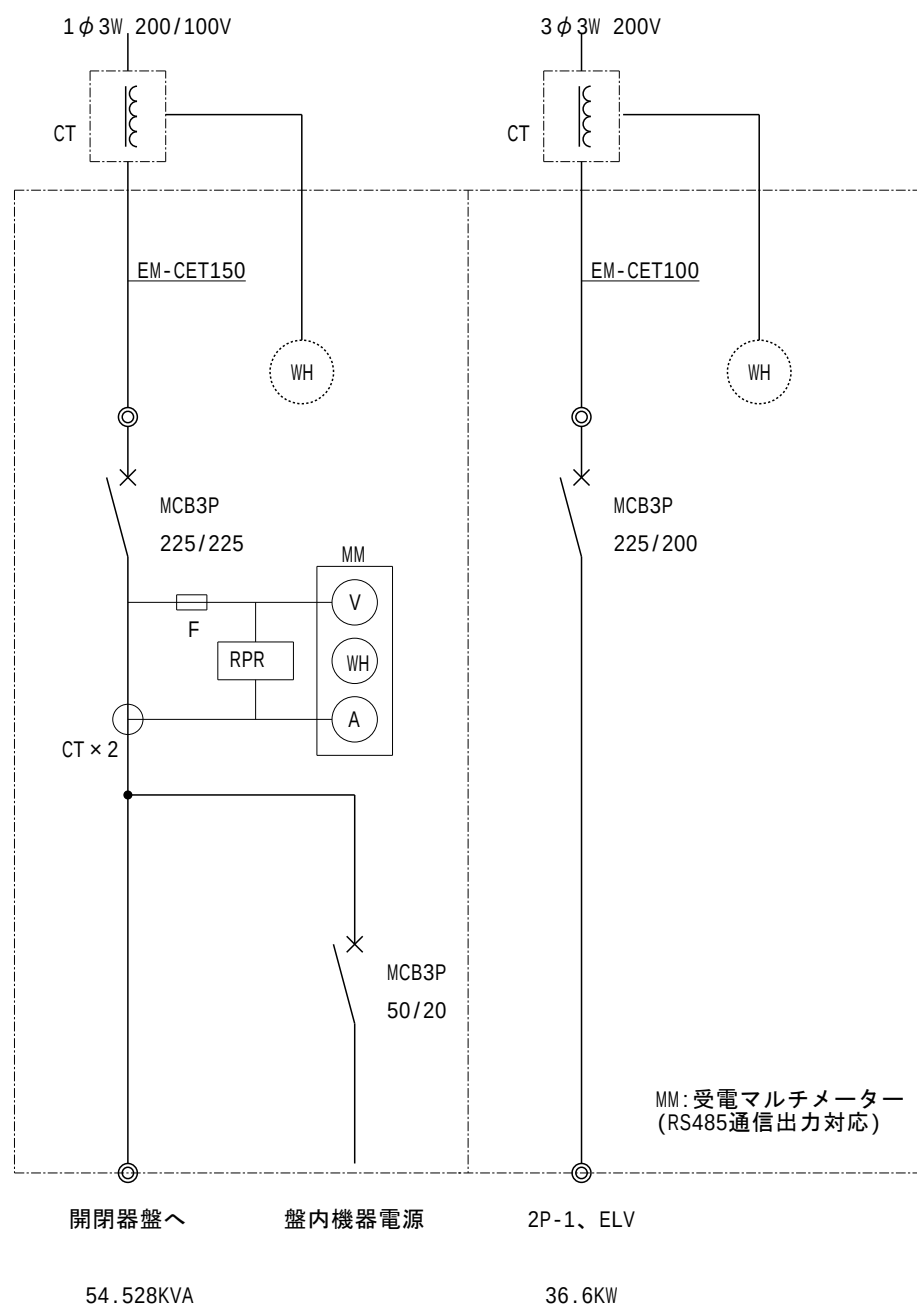
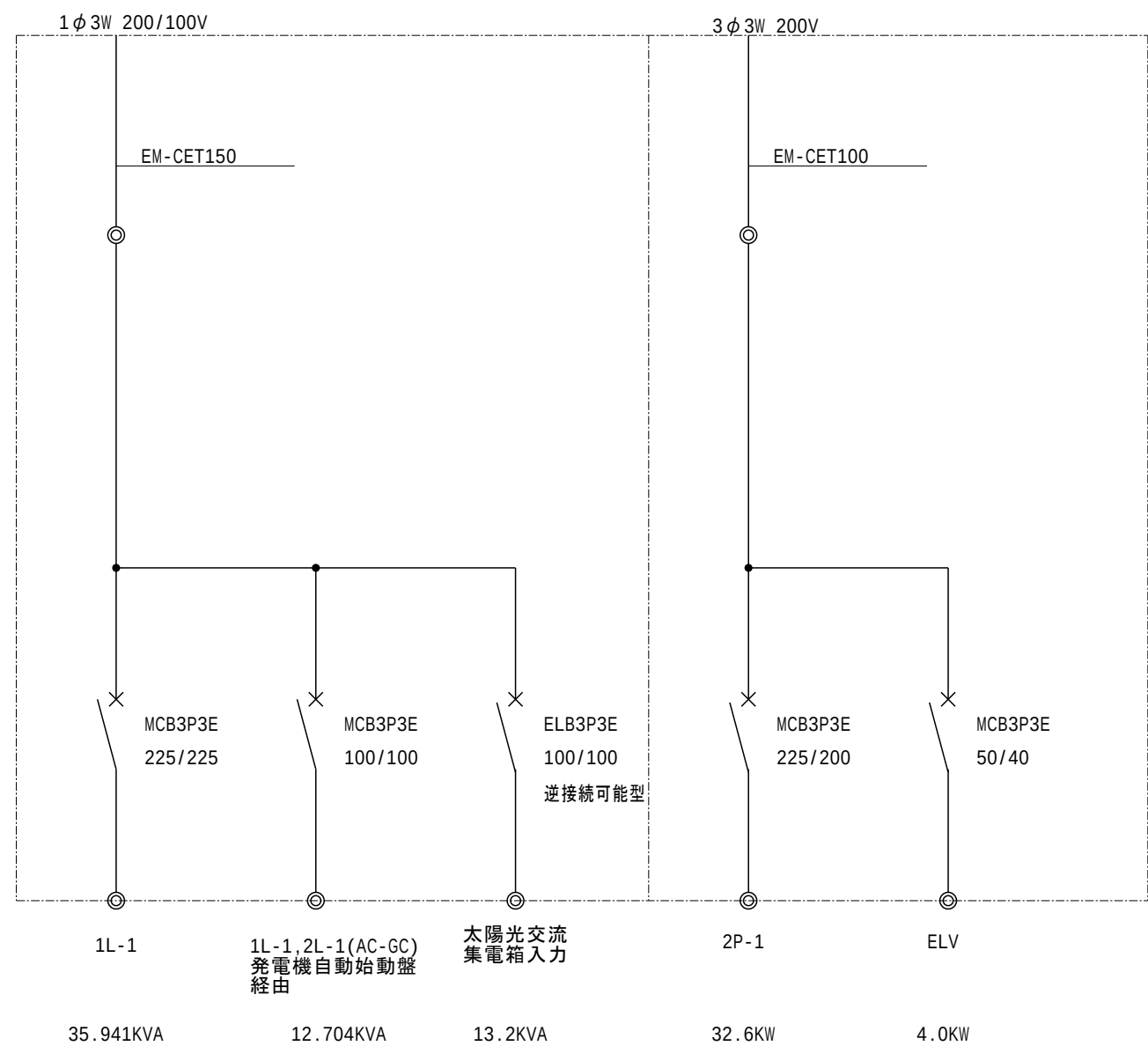
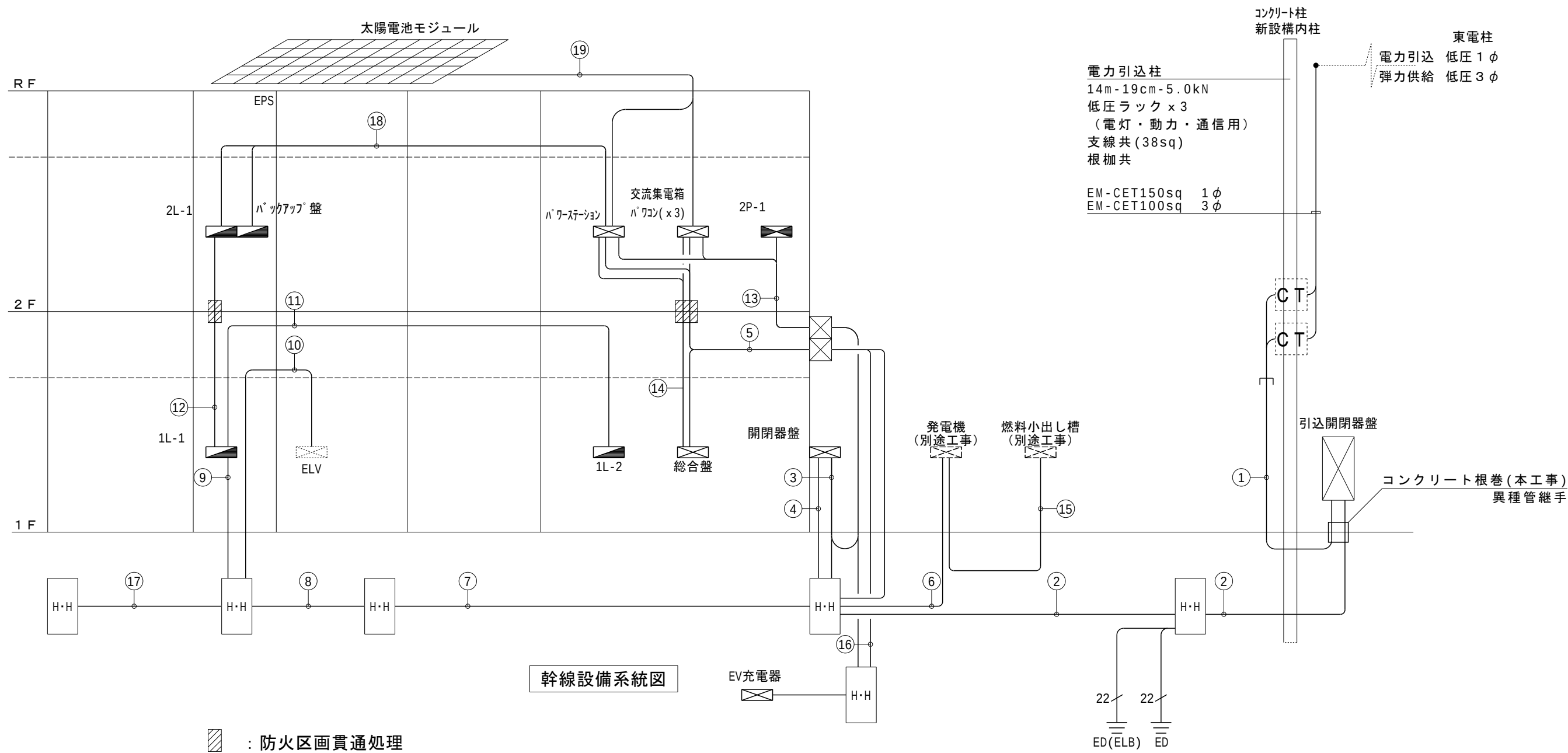
出典:国土地理院 基盤地図情報を加工して作成



付近見取図 1/3,000

出典:国土地理院 基盤地図情報を加工して作成

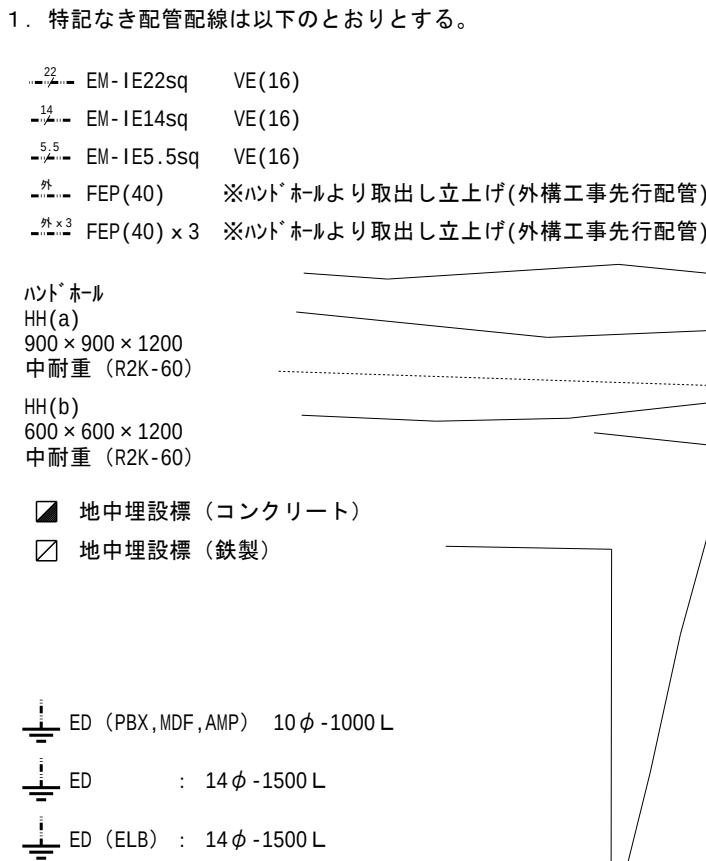
訂 正	月	日	事 項	 株式会社 ユニバァサル設計 UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号			工事名称	仮称芳野市民センター新築電気設備工事			図面名称	案内図			縮尺	A2: NS A3: NS	図面No.	E - 0 0 4
					設計者	一級建築士 登録第362398号 星野 康二	法遵合理図結果等		作成	2025 年 2 月 17 日			承認	部長 _____ 課長 _____ 担当 _____ 製図 _____			設計No.			



幹線No	自	至	ケーブル		屋内配管部分	屋外配管部分	地中配管部分	備考
①	引込柱	引込開閉器盤	EM-CET 150sq			GZ(82)	FEP(80)	
	〃	〃	EM-CET 100sq			GZ(82)	FEP(80)	
②	引込開閉器盤	開閉器盤	EM-CET 150sq E22sq×2			GZ(82)	FEP(80)	
	〃	〃	EM-CET 100sq			GZ(82)	FEP(80)	
	〃	〃	—C—			GZ(82)	FEP(80)	予備
	〃	総合盤	EM-CEES 1.25sq-4C					太陽光発電：電力メーター(RS485)
	〃	ﾊﾞｸﾞｰｽﾃｰｼｮﾝ	EM-CEE 2.0sq-2C			GZ(36)	FEP(40)	太陽光発電：RPR
	〃	ﾊﾞｸﾞﾝ	EM-CEE 2.0sq-2C					太陽光発電：RPR
	〃		—C—			GZ(36)	FEP(40)	予備
③	引込開閉器盤	開閉器盤	EM-CET 150sq E22sq×2			GZ(82)	FEP(80)	
	〃	〃	EM-CET 100sq			GZ(82)	FEP(80)	
	交流集電箱	〃	EM-CET 60sq E5.5sq			GZ(70)	FEP(65)	
	2P-1	開閉器盤	EM-CET 100sq E14sq			GZ(82)	FEP(80)	
④	開閉器盤	1L-1	EM-CET 150sq E14sq×2			GZ(82)	FEP(100)	
	〃	ELV	EM-CE8sq-3C E5.5sq			GZ(28)	FEP(30)	
	〃		—C—			GZ(82)	FEP(80)	予備
	開閉器盤	発電機	—C—			GZ(70)	FEP(65)	外構工事先行配管
⑤	引込開閉器盤	総合盤	EM-CEES 1.25sq-4C					太陽光発電：電力メーター(RS485)
	〃	ﾊﾞｸﾞｰｽﾃｰｼｮﾝ	EM-CEE 2.0sq-2C			GZ(36)	FEP(40)	太陽光発電：RPR
	〃	ﾊﾞｸﾞﾝ	EM-CEE 2.0sq-2C					太陽光発電：RPR
	発電機	総合盤	—C—		PF(28)	GZ(28)	FEP(30)	発電機一括警報用
	ﾊﾞｸﾞｰｽﾃｰｼｮﾝ	EV充電器	EM-FCPEEO.9-1P			GZ(28)	FEP(30)	
⑥	開閉器盤	発電機	—C—				FEP(65)	別途工事
	発電機	1L-1(AC-GC)	—C—				FEP(65)	別途工事
	発電機	総合盤	—C—				FEP(30)	別途工事
⑦	開閉器盤	1L-1	EM-CET 150sq E14sq×2				FEP(80)	
	〃	〃	—C—				FEP(80)	予備
	〃	ELV	EM-CE8sq-3C E5.5sq				FEP(30)	
	発電機	1L-1(AC-GC)	EM-CET 60sq				FEP(65)	※1
⑧	開閉器盤	1L-1	EM-CET 150sq E14sq×2				FEP(80)	
	〃	〃	—C—				FEP(80)	予備
	〃	ELV	EM-CE8sq-3C E5.5sq				FEP(30)	
	発電機	1L-1(AC-GC)	EM-CET 60sq				FEP(65)	
	1L-1	外灯	—C—				FEP(40)	外構工事先行配管
	〃		—C—				FEP(40)	予備
⑨	開閉器盤	1L-1	EM-CET 150sq E14sq×2		GZ(82)		FEP(80)	
	〃	〃	—C—		GZ(82)		FEP(80)	予備
	発電機	1L-1(AC-GC)	EM-CET 60sq		GZ(70)		FEP(65)	
	1L-1	外灯	—C—×3		GZ(28)		FEP(30)	外構工事先行配管
	〃		—C—		GZ(28)		FEP(30)	予備
⑩	開閉器盤	ELV	EM-CE8sq-3C E5.5sq		GZ(36)		FEP(40)	
⑪	1L-1	1L-2	EM-CET 22sq E5.5sq×2					
	1L-1(AC-GC)	1L-2(AC-GC)	EM-CET 38sq					
⑫	1L-1	2L-1	EM-CET 60sq E14sq×2		E(63)			
	1L-1(AC-GC)	2L-1(AC-GC)	EM-CE 14sq-3C		E(39)			
⑬	2P-1	開閉器盤	EM-CET 100sq E14sq		E(75)	GZ(82)	FEP(80)	
	交流集電箱	〃	EM-CET 60sq E8sq		E(63)	GZ(70)	FEP(65)	
	ﾊﾞｸﾞｰｽﾃｰｼｮﾝ	EV充電器	EM-CE8sq-2C E5.5sq		E(31)	GZ(28)	FEP(30)	
⑭	ﾊﾞｸﾞｰｽﾃｰｼｮﾝ	総合盤	EM-FCPEEO.9-2P		E(31)	GZ(28)		バッテリー小型計測装置へ
	ﾊﾞｸﾞﾝ	〃	EM-FCPEEO.9-2P		E(31)	GZ(28)		小型計測装置へ
⑮	燃料小出し槽	発電機	—C—				FEP(30)	油タンク液面低下警報(別途工事)
⑯	ﾊﾞｸﾞｰｽﾃｰｼｮﾝ	EV充電器	EM-CE8sq-2C E5.5sq			GZ(28)	FEP(30)	
	〃	〃	EM-FCPEEO.9-1P			GZ(28)	FEP(30)	
⑰	1L-1	外灯	—C—				FEP(40)	外構工事先行配管
	〃		—C—×2				FEP(40)	予備
⑱	ﾊﾞｸﾞｰｽﾃｰｼｮﾝ	2L-1	EM-CE 22sq-3C			GZ(36)		
	〃	〃	EM-FCPEEO.9-2P			GZ(28)		逆潮流検出用CT
	〃	ﾊﾞｸﾞﾏｸﾞﾏ分電盤	EM-CE 14sq-3C			GZ(36)		
⑲	太陽電池モジュール	ﾊﾞｸﾞｰｽﾃｰｼｮﾝ	専用ケーブル#5.5sq-1Cx4			GZ(28)		
	〃	ﾊﾞｸﾞﾝ	専用ケーブル#5.5sq-1Cx6			GZ(36)		

※1 発電機設備工事が別途工事となるため開閉器盤の近くのハット・ホール内に余長（10m以上）を残す。

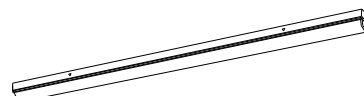
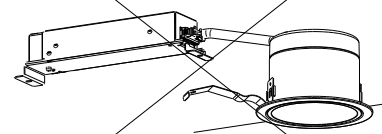
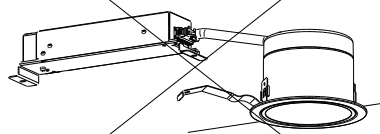
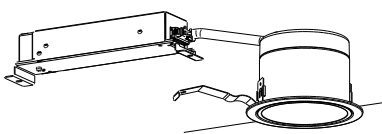
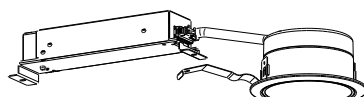
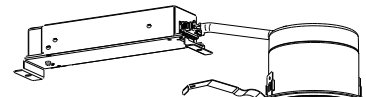
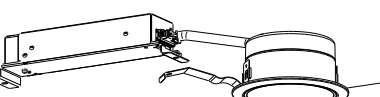
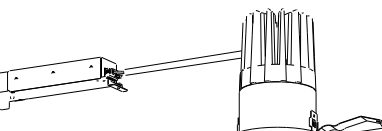
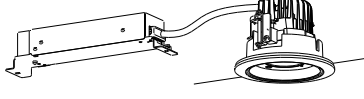
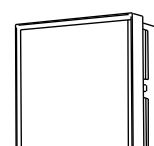
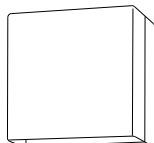
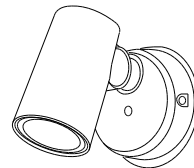
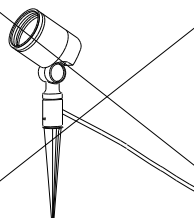
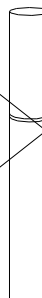
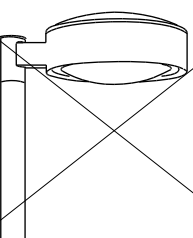
[illegible]

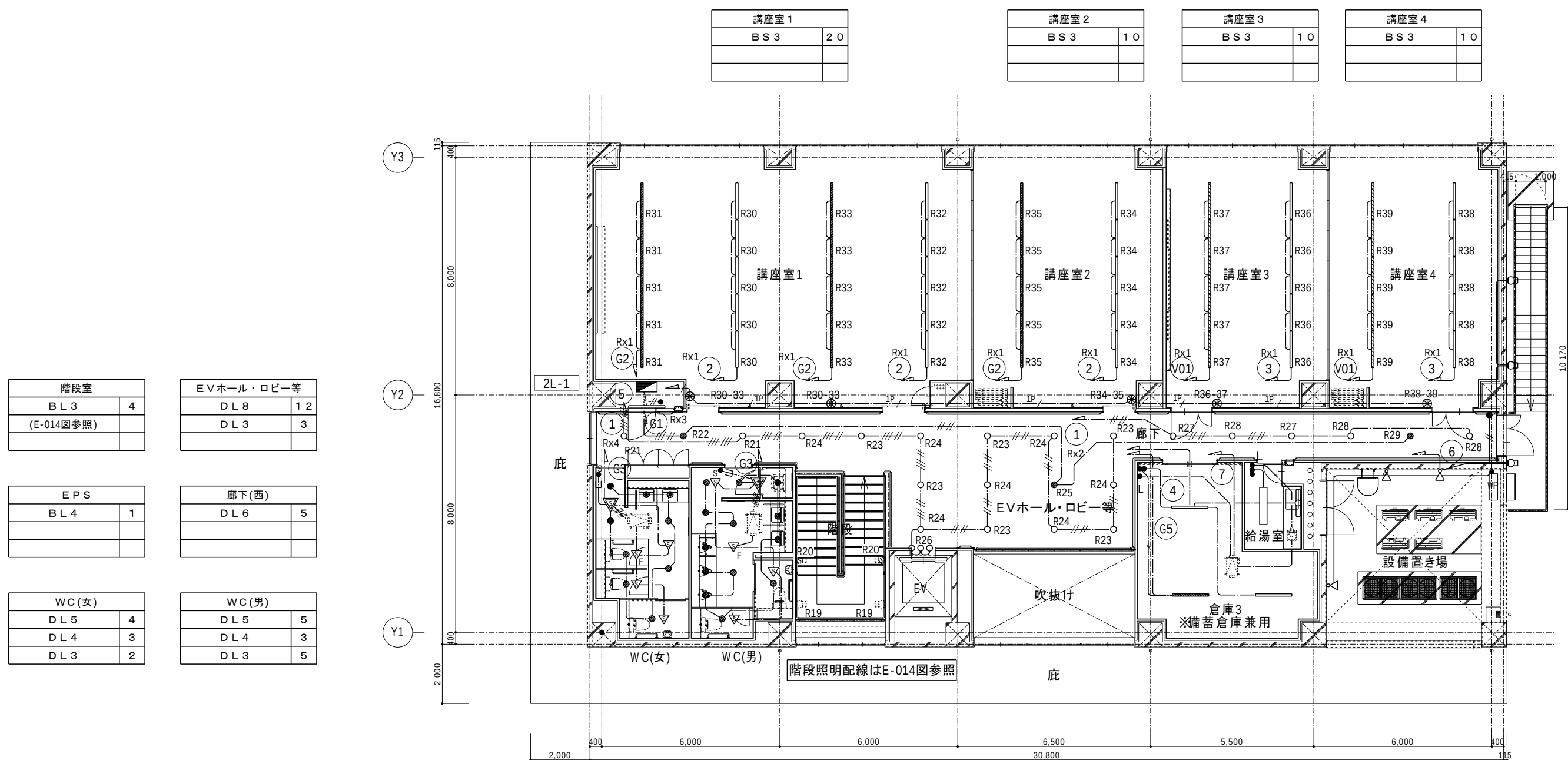


- ※1 発電機設備工事が別途工事となるため開閉装置の近くのホール内に余長（10m以上）を残すこと。
- ※2 埋設深さは地表面から1200mmとする。
- ※3 ハンドホールから地中架までの埋設部はFEP管により施工すること。建屋内はビッド内配管となる
- ※4 太陽光発電設備の建屋内配線についてはE-30を参照すること。
- ※5 空配管には導入線を通線すること。

分電盤								分電盤								分電盤															
名称形式	電気方式 幹線	回路構成	回路 番号	分岐 開閉器	容量 (VA)	負荷名称	備 考	名称形式	電気方式 幹線	回路構成	回路 番号	分岐 開閉器	容量 (VA)	負荷名称	備 考	名称形式	電気方式 幹線	回路構成	回路 番号	分岐 開閉器	容量 (VA)	負荷名称	備 考								
1 L - 1 屋内自立 T型	AC 1φ3w 100/200V 開閉器盤より EM-CET150sq							1 L - 1	AC-GC 1φ3w 100/200V 開閉器盤より EM-CET60sq							1 L - 2 屋内自立 T型 上部ダクト	AC 1φ3w 100/200V 1L-1 EM-CET22sq														
				MCB3P100/75		1L-2																									
				MCB3P150/125		2L-1																									

[illegible][illegible]

BS1	直付型 40形	8 台	BS2	埋込型40形 下面開放型 W220	4 台	DL1	ダウライト 100形	DL2	ダウライト 150形	DL3	ダウライト 60形	2 1 台		
5200LM 31.9W		倉庫・印刷室	BS3: 埋込型40形 下面開放型 W220 グレアカット	7 4 台	BS2:5060LM BS3:4800LM BS2:31.9W BS3:31.9W	BS2:休憩室・予備室・給湯室 BS3:事務室・夜間受付・職員会議室・講座室	965LM 7.0W		1610LM 11.6W			男子トイレ(洗面) 女子トイレ(洗面) 多目的トイレ(洗面)		
BS1:LSS1-4-48			BS2:LRS3-4-48 BS3:XLX450ULNT 同等品			DL1:LRS1-08(3000 ° K)		DL2:LRS1-13(3000 ° K)		DL3:LRS1-05				
DL4	ダウライト 100形	1 8 台	DL5	ダウライト 150形	2 8 台	DL6	ダウライト 200形	1 4 台	DL7	ダウライト 250形	3 7 台	DL8	ダウライト 350形	1 2 台
1045LM 7.0W		男子トイレ(通路) 女子トイレ(通路) 風除室	1695LM 11.6W		男子トイレ(個室) 女子トイレ(個室) 多目的トイレ 更衣室 事務室(カウンター) EV前	2070LM 15.0W		2階廊下	2515LM 18.6W		事務室 1階廊下 談話コーナー ロビー エントランスホール	4020LM 29.1W		2階EVホールのロビー
DL4:LRS1-08			DL5:LRS1-13			DL6:LRS1-17			DL7:LRS1-22			DL8:LRS1-33		
DL9	軒下用ダウライト 150形	1 3 台	BL1	LED棚下灯 20形直管蛍光灯1灯相当	2 台	BL2	ブラケット 60形電球1灯器具相当	3 台	BL3	LED階段通路誘導灯コンパクトブラケット	4 台	BL4	LEDブラケット 40形(片反射笠)	2 台
1585LM 11.6W		軒下	1655LM 18.3W		休憩室 給湯室	420LM 7.7W		屋外階段	1500LM 16.0W		階段室	5200LM 31.9W		EPS
DL9:LRS1RP-13			BL1:LG852209KLE1 同等品			BL2:XLGE5031CE1 同等品			BL3:NNCF50140JLE1 同等品			本体:LSS1-4-48 片反射笠ユニット:FSK41020 同等品		
SP1	LEDスポットライト 60形電球1灯器具相当	3 台	SP2	スポットライト 350形	1 0 台	SP3	LEDスポットライト 100形ダウライト電球1灯器具相当	PL1	インテリジェント 40形電球1灯器具相当	PL2	スポットライト 水銀灯100形1灯器具相当	440LM 5.9W		設備置場
SP1:LGW40588LE1 同等品			SP2:NYT1033NZLE9 同等品			SP3:XLGE5032CE1 同等品	710LM 7.7W		295LM 4.3W		外構照明 (植込み)	2900LM 30W		外構照明 (駐車場)
									PL1:XLGE5033BK 同等品			PL2:MYV22352LE9(本体)+DYDX2030(7-4) +DYDX2309H(スポットライト) 同等品		



階段室	
B L 3	4
(E-014図参照)	

EVホール・ロビー等	
DL8	12
DL3	3

EPS	
BL 4	1

廊下(西)	
D L 6	5

WC(女)	
DL 5	4
DL 4	3
DL 3	2

WC(男)	
D L 5	5
D L 4	3
D L 3	5

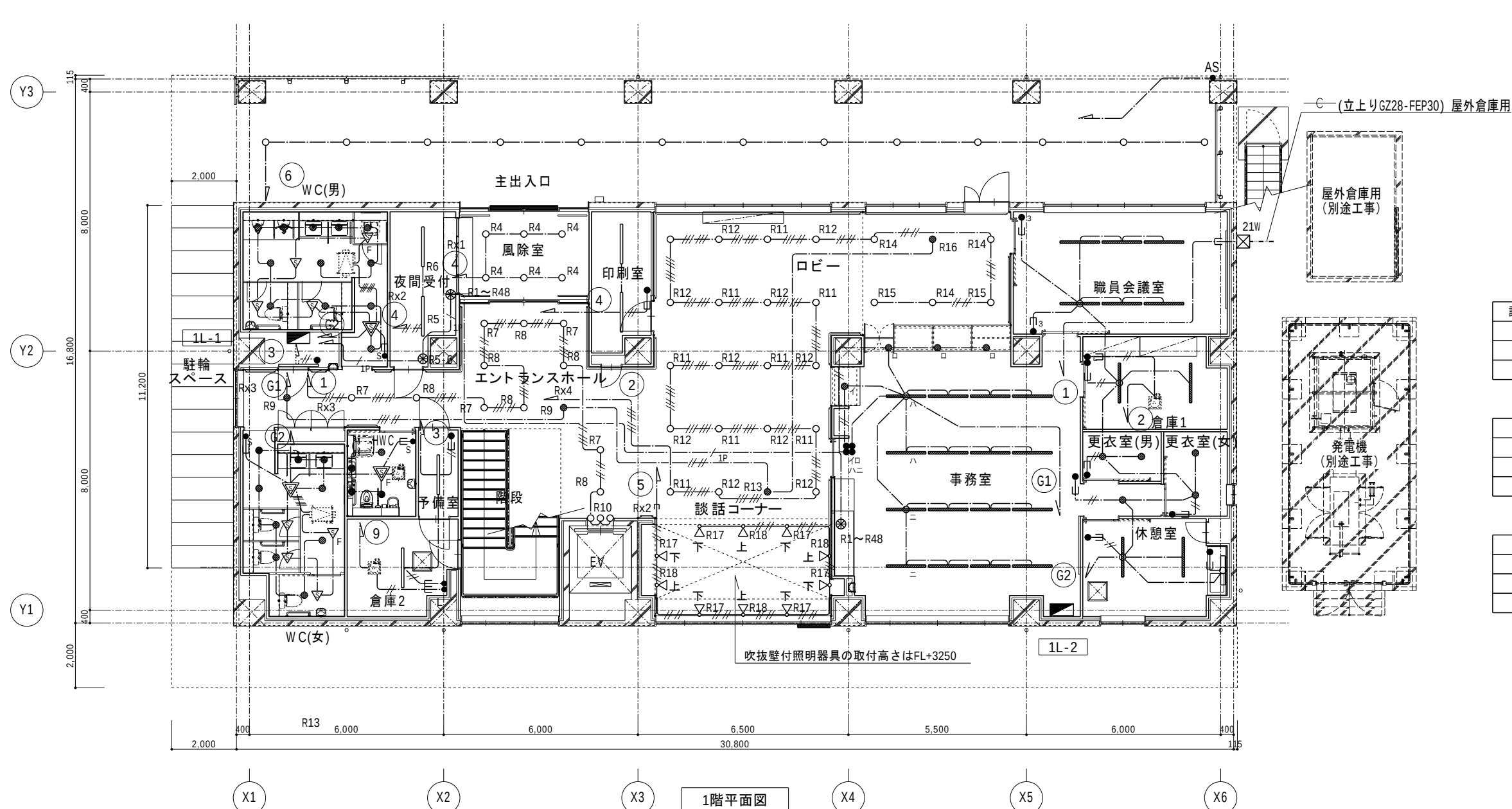
屋外階段	
B L 2	3

廊下(東)	
D L 6	6

倉庫 3 備蓄倉庫	
BS 1	3

給湯室	
BS 2	1
BL 1	1

設備置き場	
S P 1	3



エントランスホール	
DL 7	10
DL 3	3

印刷室	
BS 1	2

WC(男)	
DL 5	5
DL 4	3
DL 3	4

風除室	
D L 4	6

EPS	
BL 4	1

夜間受付	
BS3	2

廊下	
DL 6	3

HWC	
D L 5	2
D L 3	2

WC(女)	
DL 5	4
DL 4	3
DL 3	2

予備室	
BS2	1

倉庫 2	
BS 1	1

談話コーナー・ロビー	
DL7	26

職員会議室	
BS 3	6

事務室	
BS 3	16
DL 7	1
DL 5	4

倉庫 1	
BS 1	2

吹抜け	
SP2	10

更衣室	
D L 5	4

休憩室	
BS 2	2
BL 1	1

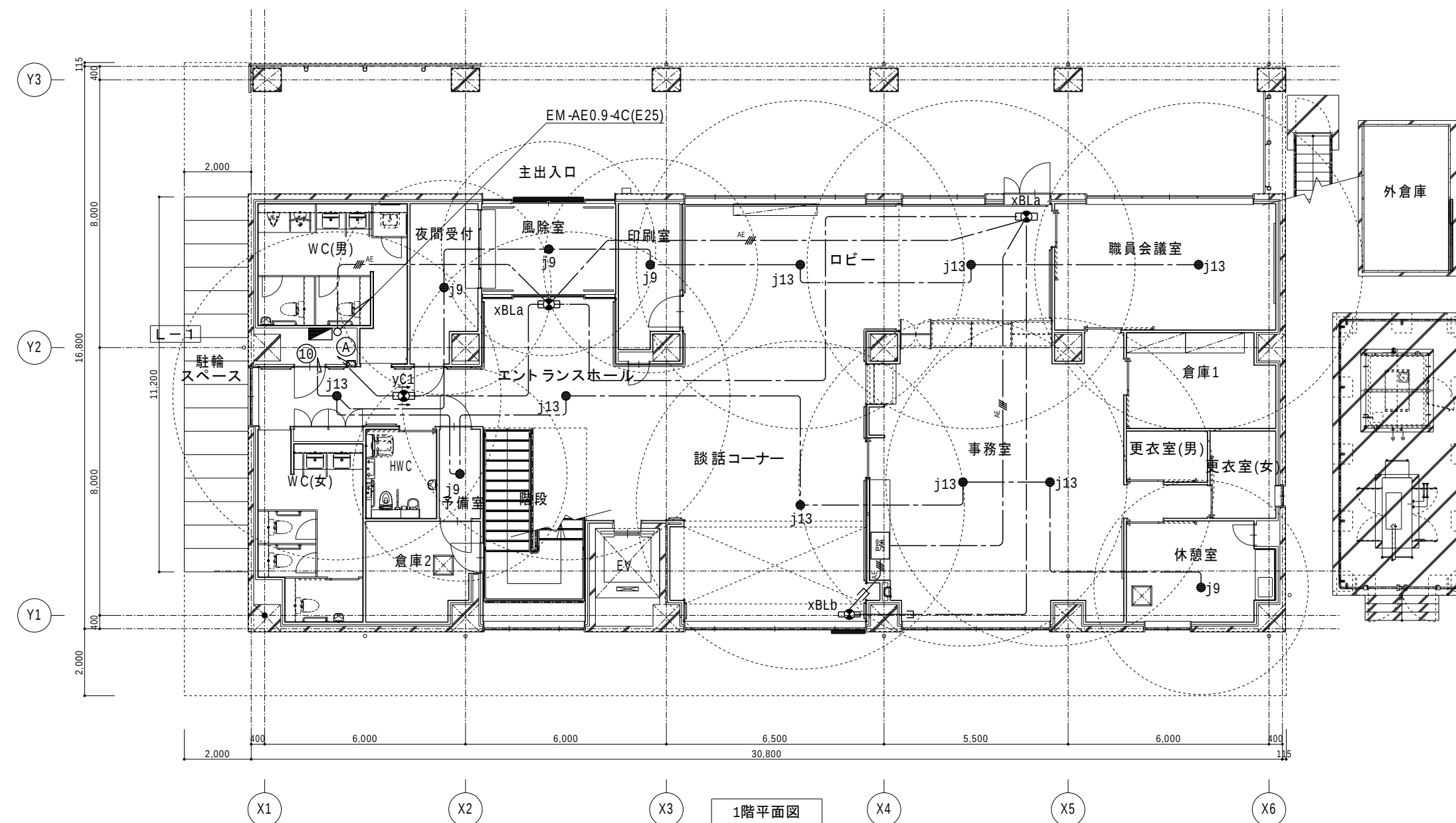
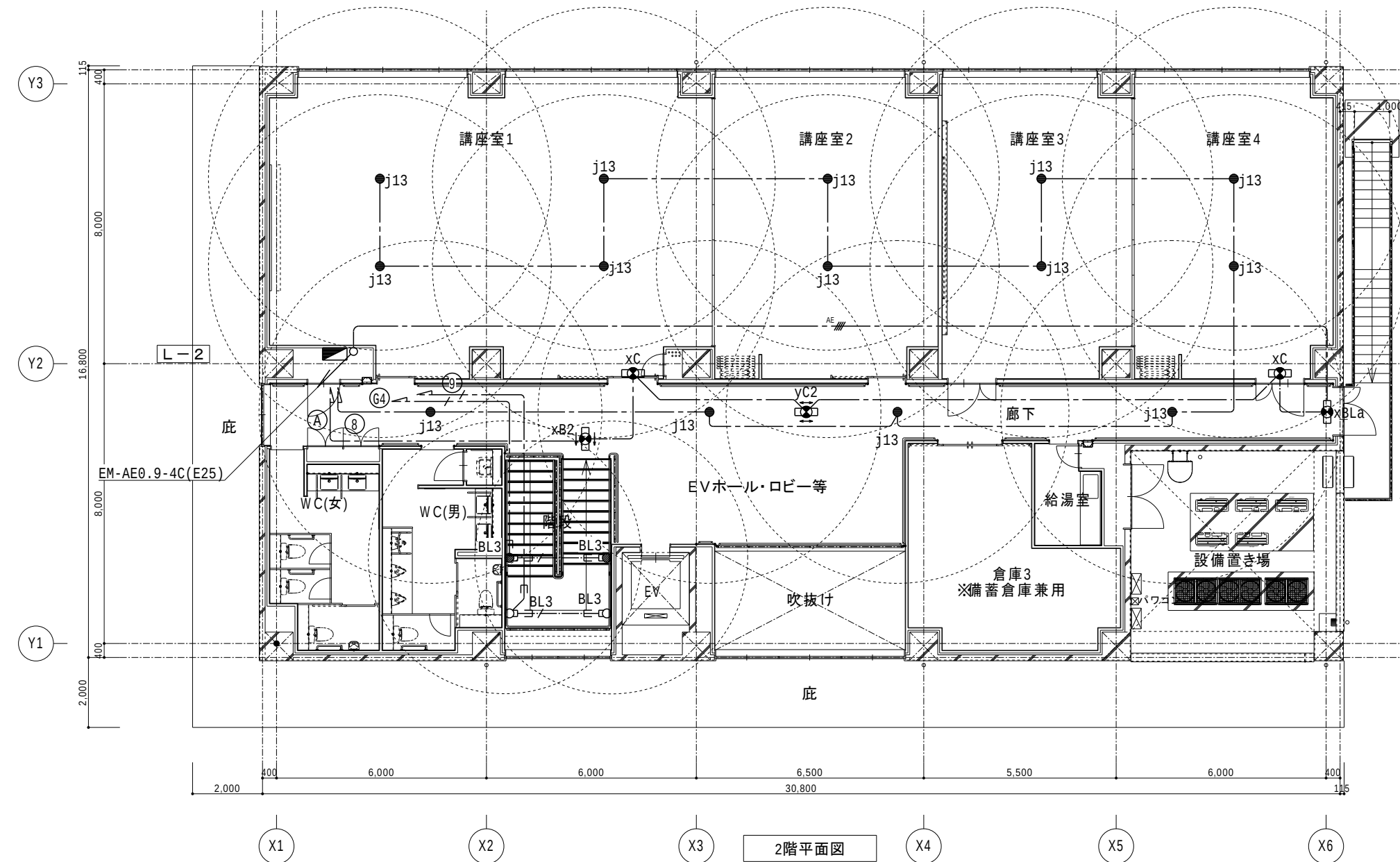
凡 例	記 号	名 称	備 考
		電灯分電盤	
		LED灯 天井付	
		LED灯 天井付	発電機回路
		LED灯 天井付	V2H回路
		LED灯 ダウンライト	
		LED灯 ダウンライト	発電機回路
		LED灯 壁付 縦型	
		LED灯 壁付 縦型	発電機回路
		LED灯 壁付 横型	
		LED灯 スポットライト	
	●	ワイド型スイッチ 1P15A	
	● ³	ワイドスイッチ 3W15A	
	● ^L	ワイドスイッチ 1P15A	確認表示灯付 ※
	●WP	防水埋込スイッチ1P15A	
	●Rn	リモコンスイッチ	n=点滅回路番号
	⊗Rn	リモコンセレクトースイッチ	n=点滅回路番号
		センサースイッチ 親機	
		センサースイッチ 親機	換気扇連動
		センサースイッチ 子機	
		センサースイッチ 子機	換気扇連動

※保護カバー付きスイッチプレート 換気扇用

記 号	名 称	備 考
— —E— —	EM-EEF2.0-3C(PF22)	壁隠ぺい
—//—E— —	EM-EEF2.0-2C(PF16)	壁隠ぺい
— —E●	EM-EEF2.0-3Cx2(PF28)	壁隠ぺい
—————	EM-EEF2.0-3C(PF22)	天井隠ぺい
—————	EM-EEF2.0-3C	天井内コロガシ
————//—	EM-EEF2.0-2C	天井内コロガシ
—//—//—	EM-EEF2.0-2C×2	天井内コロガシ
—///—///	EM-EEF2.0-2C+3C	天井内コロガシ
—///—///	EM-EEF2.0-3C×2	天井内コロガシ
—/1P	EM-CPEE1.2-1P	天井内コロガシ
.....	EM-EEF2.0-3C	(E25) 露出
.....//—	EM-EEF2.0-2C	(E25) 露出

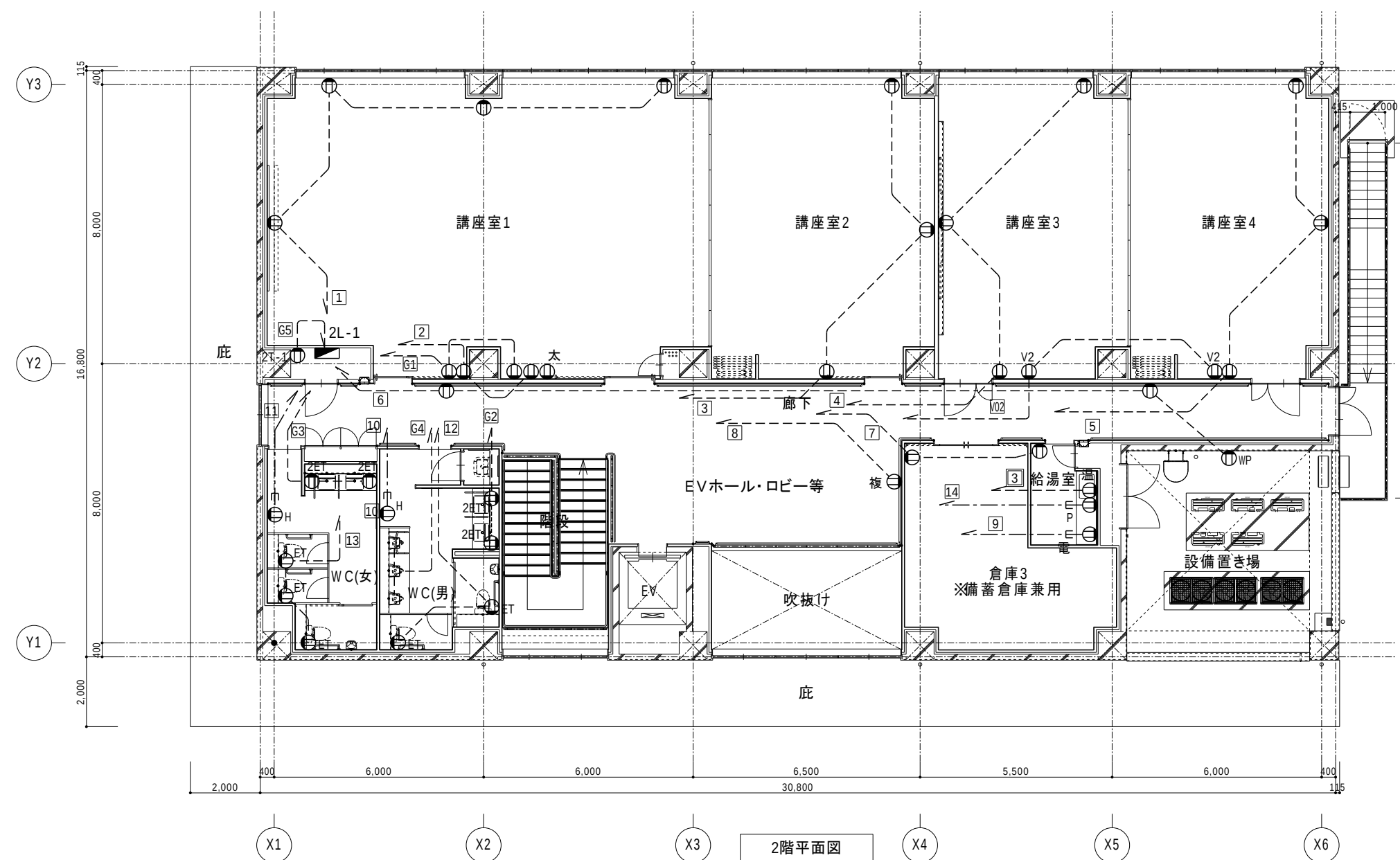
1.特記無き場合は下記とする。

☒^{21W} プルボックス 200x200x100 SUS E端子付



凡 例 (姿図参照)		
記 号	名 称	備 考
●	非常照明	
□	階段通路誘導灯	⦿ : 発電機回路
⦿	避難口誘導灯	
⦿	通路誘導灯	

記号	名 称	備 考
—	EM-EEF1.6-3C	天井内コログシ
—/—	EM-EEF1.6-3C (PF22)	壁随い
—/—	EM-EEF1.6-3C E2.0	天井内コログシ
—/—	EM-EEF1.6-3C E2.0 (PF22)	壁随い
—/—	EM-AE0.9-4C	天井内コログシ
—/—	EM-AE0.9-4C (PF22)	壁随い
註	誘導灯用信号装置	



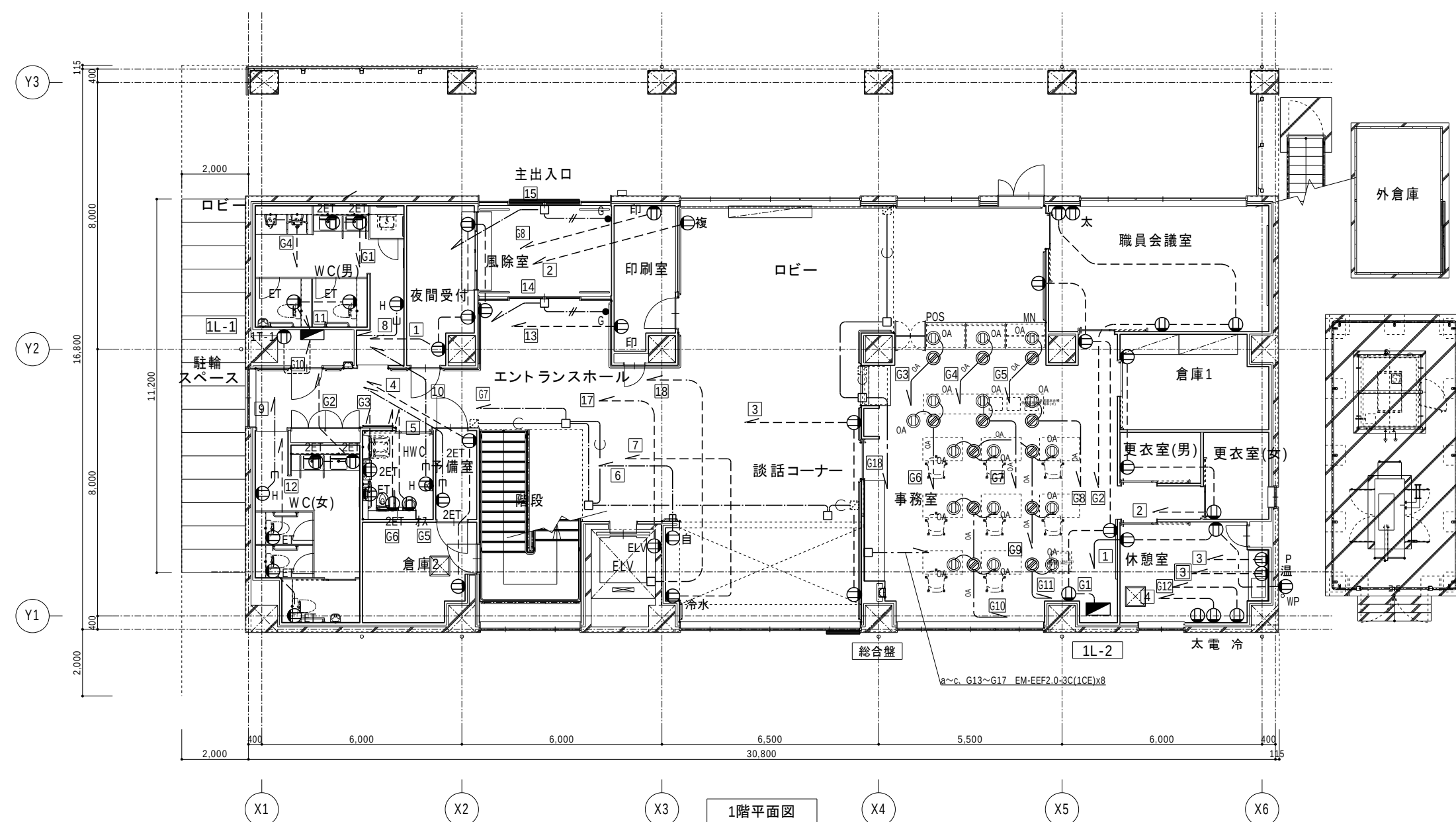
注記

1. 特記なき配線は下記の通りとする。

—○A—	EM-EEF2.0-3C (1E)	○Aフロア内
-----	EM-EEF2.0-3C (PF22)	床埋込
-----	EM-EEF2.0-3C	天井内コサシ
— — —	EM-EEF2.0-3C	天井内コサシ
-----E—	EM-EEF2.0-3C	壁立下り PF(22)
—C—	C PF(22)	天井・壁内パイ

2. ケーブル配線において壁内等の引下げ、立上り部はPF管にて保護とする。

凡例

[illegible]

凡 例

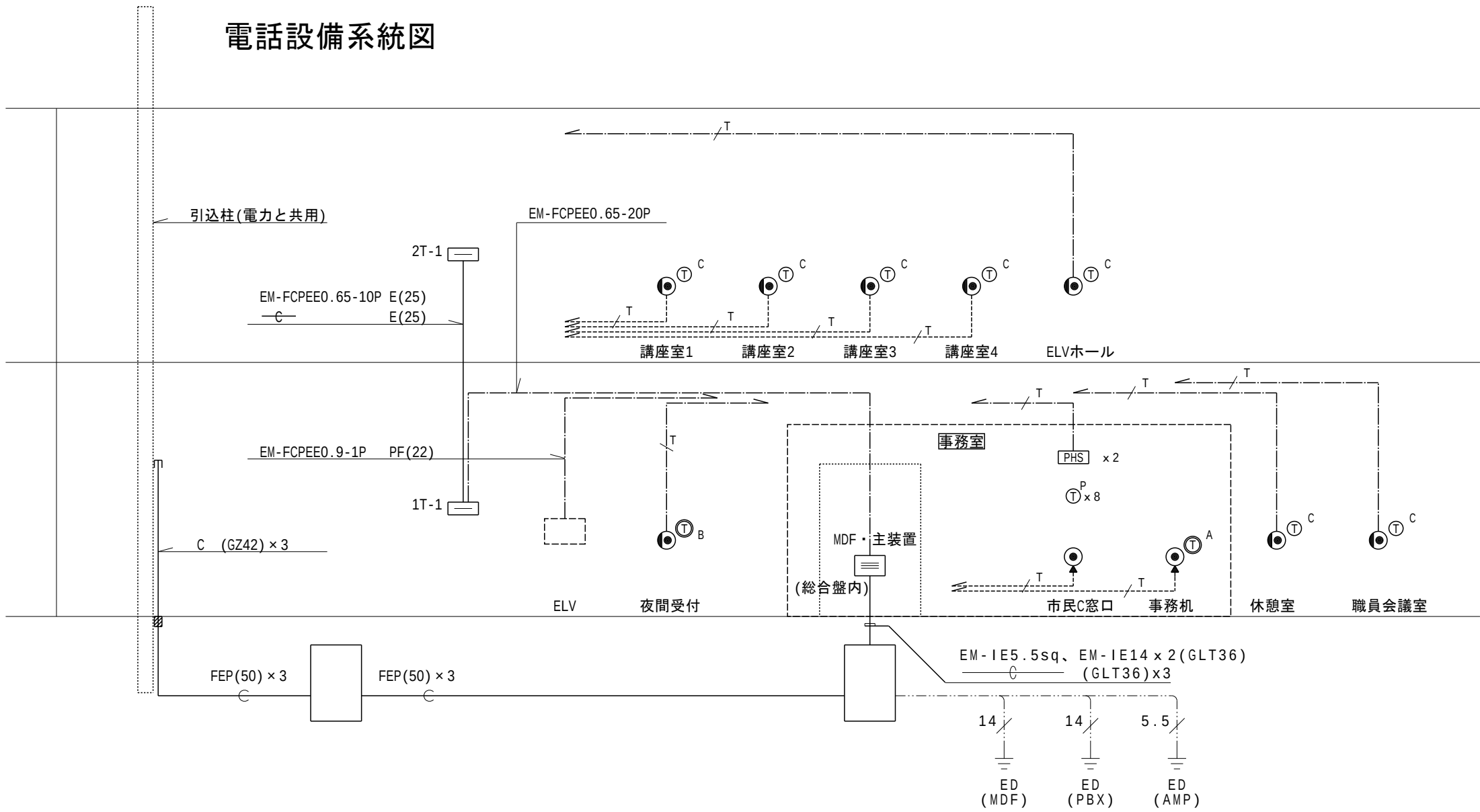
※2個以上は傍記による

凡 例	名 称	備 考
①	埋込コンセント(2P15A+E) × 2	接地極付
① ELV	〃	ELV用
① 対	〃	電気温水器・リモコン便器洗浄ユニット用
① P	〃	電気ポット用
① V2	〃	V2H非常用
① 太	〃	太陽光自立運転用 (赤色コンセント※)
① 2T-1	埋込コンセント(2P15A+E) × 4 露出型	TV? - スター・HUB用 (端子盤内)
① IT-1	埋込コンセント(2P15A+E) × 2 露出型	端子盤内
① ET	埋込コンセント 2P15A × 1 + ET	ウォシュレット用
① 印	〃	印刷機用
① 複	〃	複合機用
① H	〃	ハンドドライヤー用
① 自	〃	自販機用
① 2ET	埋込コンセント 2P15A × 2 + ET	電気温水器・自動水栓用
① 冷水	〃	冷水器用
① 電	〃	電子レンジ用
① 冷	〃	冷蔵庫用
① 温	埋込コンセント 200V2P20A × 1 + ET	電気温水器用
① WP	防水コンセント(2P15A+E) × 2 + ET	
□	アウトレットボックス	
●	タンブラースイッチ	1P15A × 1 金属プレート付き (簡易鍵付)

※太陽光自立運転用コンセントの金属プレートには発電表示（参考：WN750303）をすること。

	1φ 200V	AC回路
	1φ 100V	AC回路
	1φ 100V	AC-GC回路

電話設備系統図



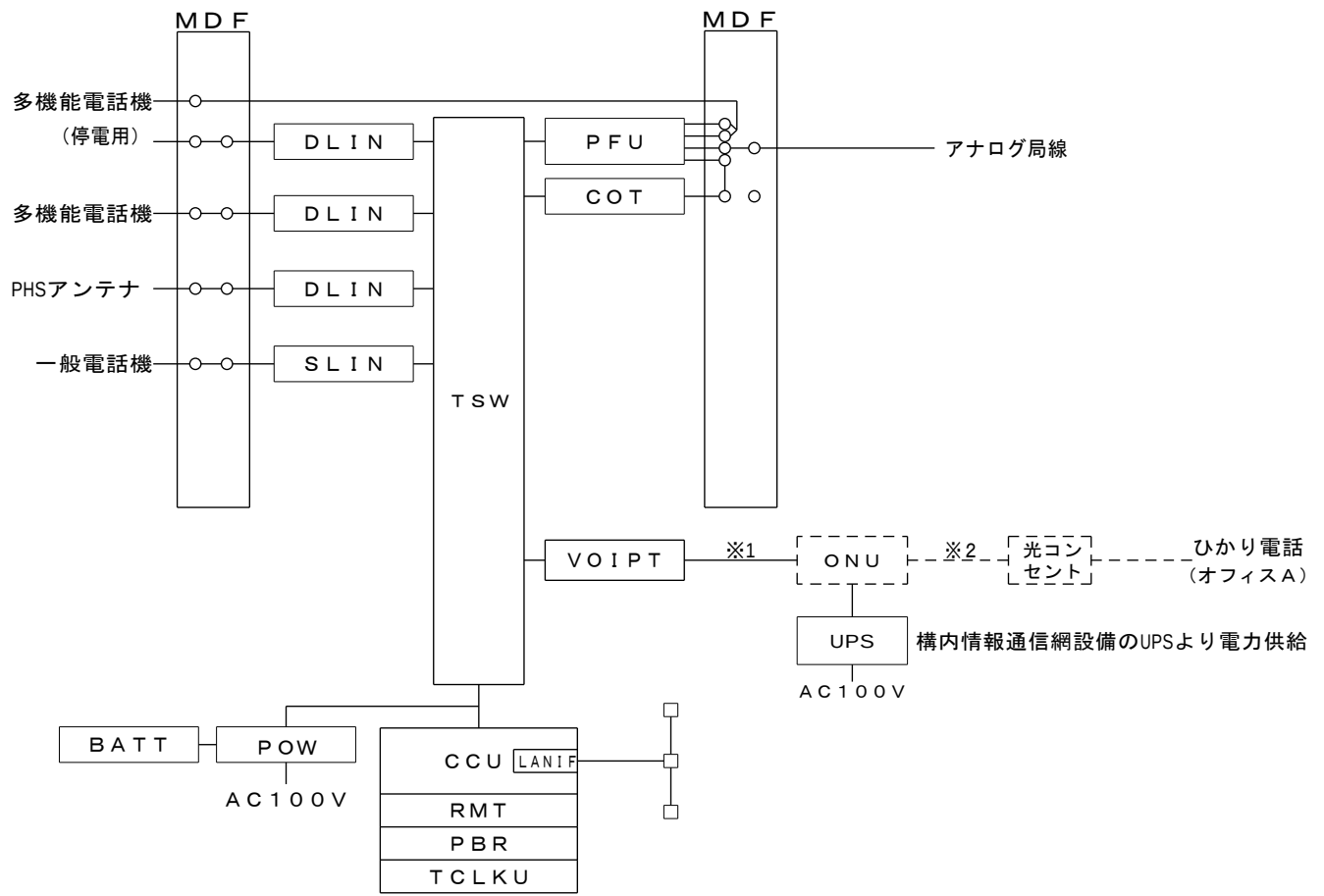
凡 例

記 号	名 称
	端子盤
	埋込電話用アウトレット
	多機能電話機
	多機能電話機
	一般電話機
	PHS電話機
	PHSアンテナ
	電話用露出モジュラーゼット 6極 4心 マグネット付

図中特記なき配管配線は下記による

	EM-EBT0.4-2P	天井内
	EM-EBT0.4-2P x 2	"
	EM-EBT0.4-2P x 3	"
	EM-EBT0.4-2P	OAフロア内
	EM-EBT0.4-2P x 2	"
	EM-EBT0.4-2P x 3	"

中継方式図



記 号	名 称
MDF	主配線盤
POW	電源装置
BATT	バッテリー
CCU	共通制御ユニット
TSW	時間スイッチ
RMT	遠隔保守ユニット
TCLKU	クロック同期ユニット
PBR	PB信号受信器

記 号	名 称
LANIF	LANインターフェース
COT	局線トランク
PFU	停電障害代替トランク
DLIN	2Wデジタル多機能電話機ラインユニット
SLIN	ラインユニット
VOIPT	8chVOIP直収トランク
ONU	光回線終端装置
UPS	無停電電源装置

電話機器参考図

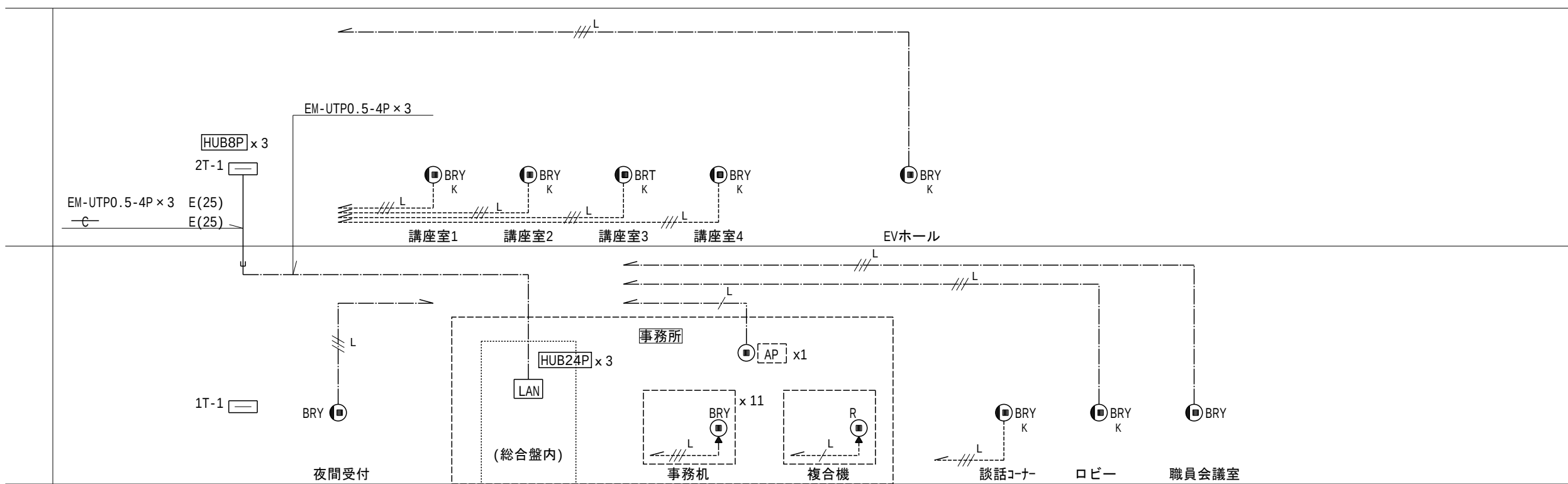
①A 多機能電話機(停電対応型) x1台 外線ボタン LCD表示 ディスプレイ 履歴・電話帳・着信ランプ 方式 デジタリ式(700V停電対応型)配線4W 参考型番 HI-24G-TelpFA同等品	①B 多機能電話機 x1台 外線ボタン LCD表示 ディスプレイ 履歴・電話帳・着信ランプ 方式 デジタリ式 配線2W 参考型番 HI-24G-TELSDA同等品	デジタル電子交換機 x1台 参考型番 MX-01 (CCUB) 同等品 ※バッテリー初付無し
①C 一般電話機 x7台 固定機能ボタン フッキングボタン 回線種別 DP/PB切替式 音量調整 受話音量2段階・着信音量4段階 着信音色4段階 着信ランプ 有 設置方法 卓上・壁掛兼用型(別途壁掛用品必要) 参考型番 HI-A2 II 同等品	壁掛用品 x7台 形状 壁取付形 (JIS1個用スイッチボックス) 一般電話用 用品の構成 ハンドセットフック 壁掛ブラケット 参考型番 HI-1.3WMP同等品	①P PHS電話機 x8台 参考型番 HI-D10PSWP同等品 PHSアンテナ x1台 参考型番 HI-D3BSNDF同等品 PHSアンテナ x1台 参考型番 HI-D3BSIDF同等品

電話設備仕様

交 換 機

制御方式	蓄積プログラム制御方式						
通話路方式	時分割PCM方式						
構 造	本装置は自立キャビネットで収容された交換機・整流器・バッテリー一体型である。 又、壁掛金具により、壁掛設置が可能であること。						
回線数	収容回線種別		容 量	実 装	現 用	備 考	
	外線	ひかり電話		8	4	チャンネル数を示す。	
		アナログ		8	1	回路数を示す。	
	内線	多機能内線		8	2	回路数を示す。	
		一般内線		8	7	回路数を示す。	
		PHSアンテナ		2	2	回路数を示す。	
番号計画	接続種別	番 号	備 考				
	内線番号	2～5桁					
	局線発信	0又はボタン					
	局線応答	X又はボタン					
	サービス特番	1～2桁					

LAN設備系統図



図中特記なき配管配線は下記による



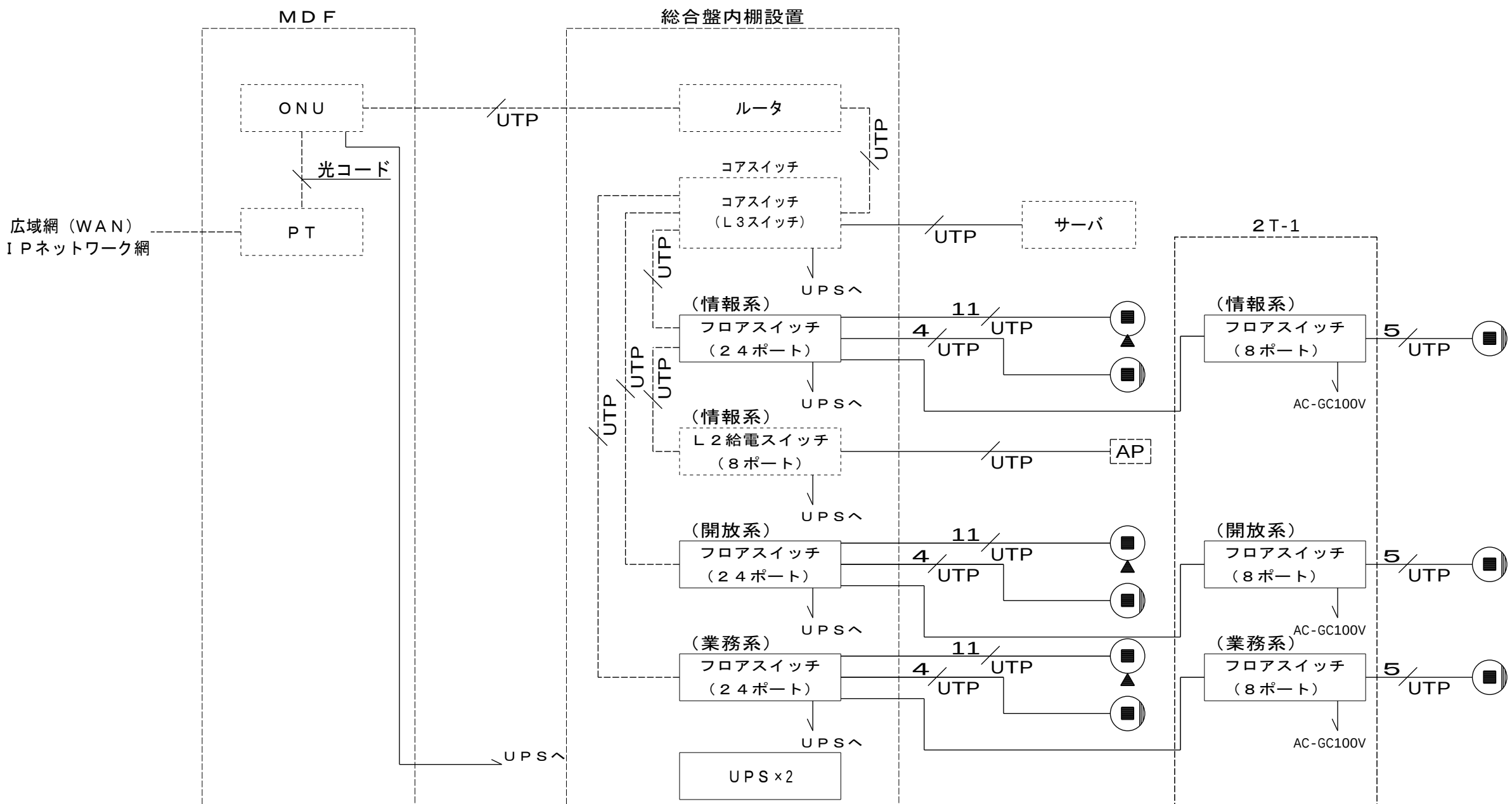
HUB24P

フロアスイッチ（24ポート）

3台

情報系
業務系

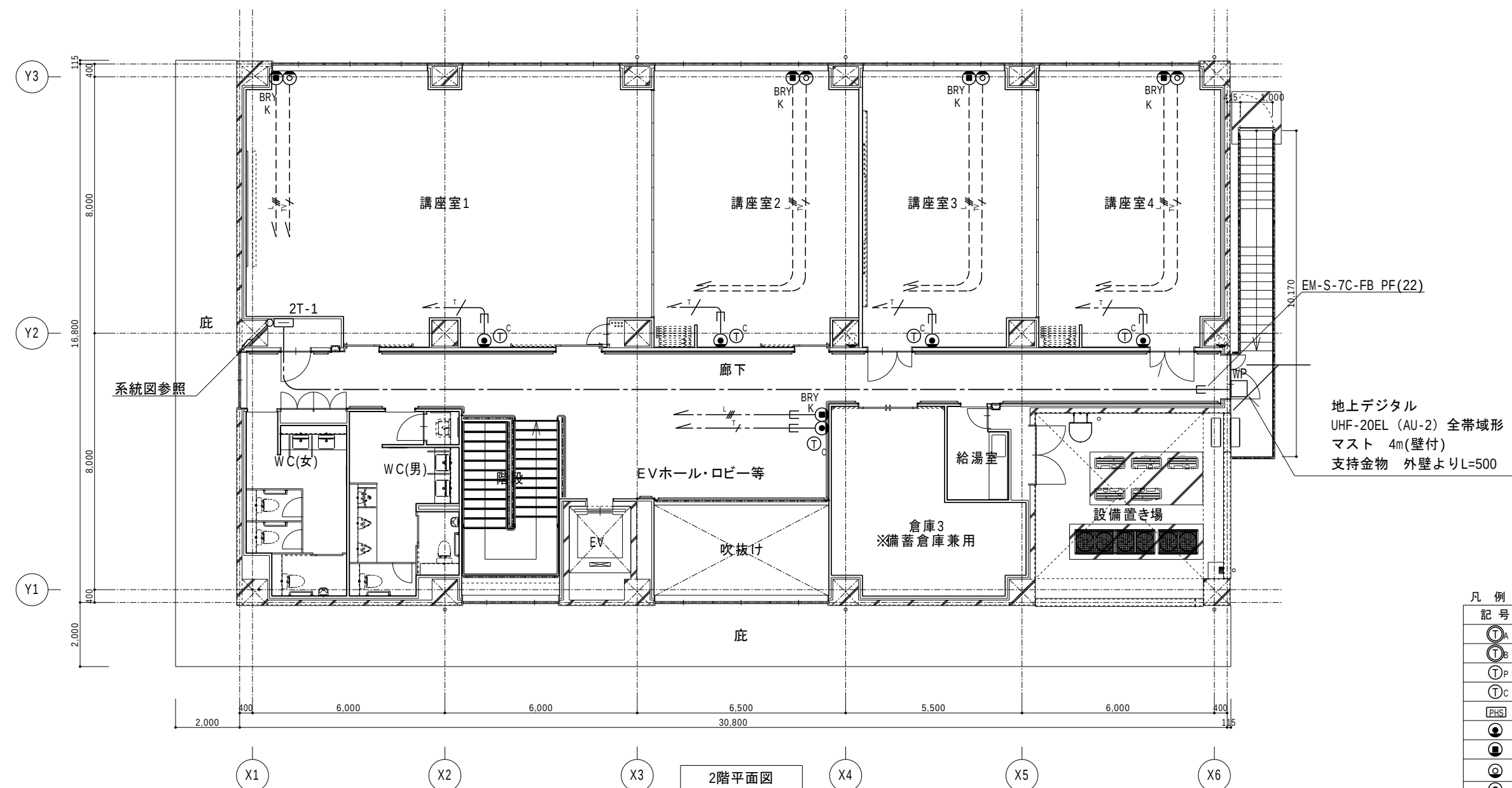
</



※端子盤（2T-1）は側面放熱用換気スリット付

UTP:UTP-4P(CAT5e)

[illegible]



凡 例	記 号	名 称	備 考
	㊦A	多機能電話機	停電対応型 盗図参照
	㊦B	多機能電話機	〃
	㊦P	PHS電話機	〃
	㊦C	一般電話機	〃
	PHS	PHSアンテナ	
	㊦	壁付電話用アウトレット	
	㊦	壁付情報用アウトレット	ケーブル色別は下記参照
	㊦	埋込TV用直列ユニット	
	㊦	電話用露出モジュラーローゼット	6極4心 マグネット付
	㊦	モジュラーコネクタ	RJ45 CAT5E ケーブル色別は下記参照
	AP	アクセスポイント	別途工事

※2以上傍記による

1) 図中特記なき配管配線は下記による(立上り・立下りは系統図参照)

(電話)

	EM-EBT0.4-2P	コナシ		EM-EBT0.4-2P	PF(22)床埋込
	EM-EBT0.4-2P x 2	"		EM-EBT0.4-2P x 2	"
	EM-EBT0.4-2P x 3	"		EM-EBT0.4-2P x 3	"

(LAN) : CAT5E

	EM-UTPO.5-4P(CAT5E)	コガシ		EM-UTPO.5-4P(CAT5E)	PF(22)床埋込
	EM-UTPO.5-4P(CAT5E) × 2	"		EM-UTPO.5-4P(CAT5E) × 2	"
	EM-UTPO.5-4P(CAT5E) × 3	"		EM-UTPO.5-4P(CAT5E) × 3	PF(28)床埋込

(テレビ)_{TV}

~~—~~ ~~/~~ ~~IV~~ ~~—~~ EM-S-5C-FB シカド

(共通)
—・—・フー 壁

2) LANケーブルはCAT5eとし、LAN系統及び配線ケーブルの色は下記による

B:青色(情報系)

R:赤色(業務系)
Y:黄色(開発系)

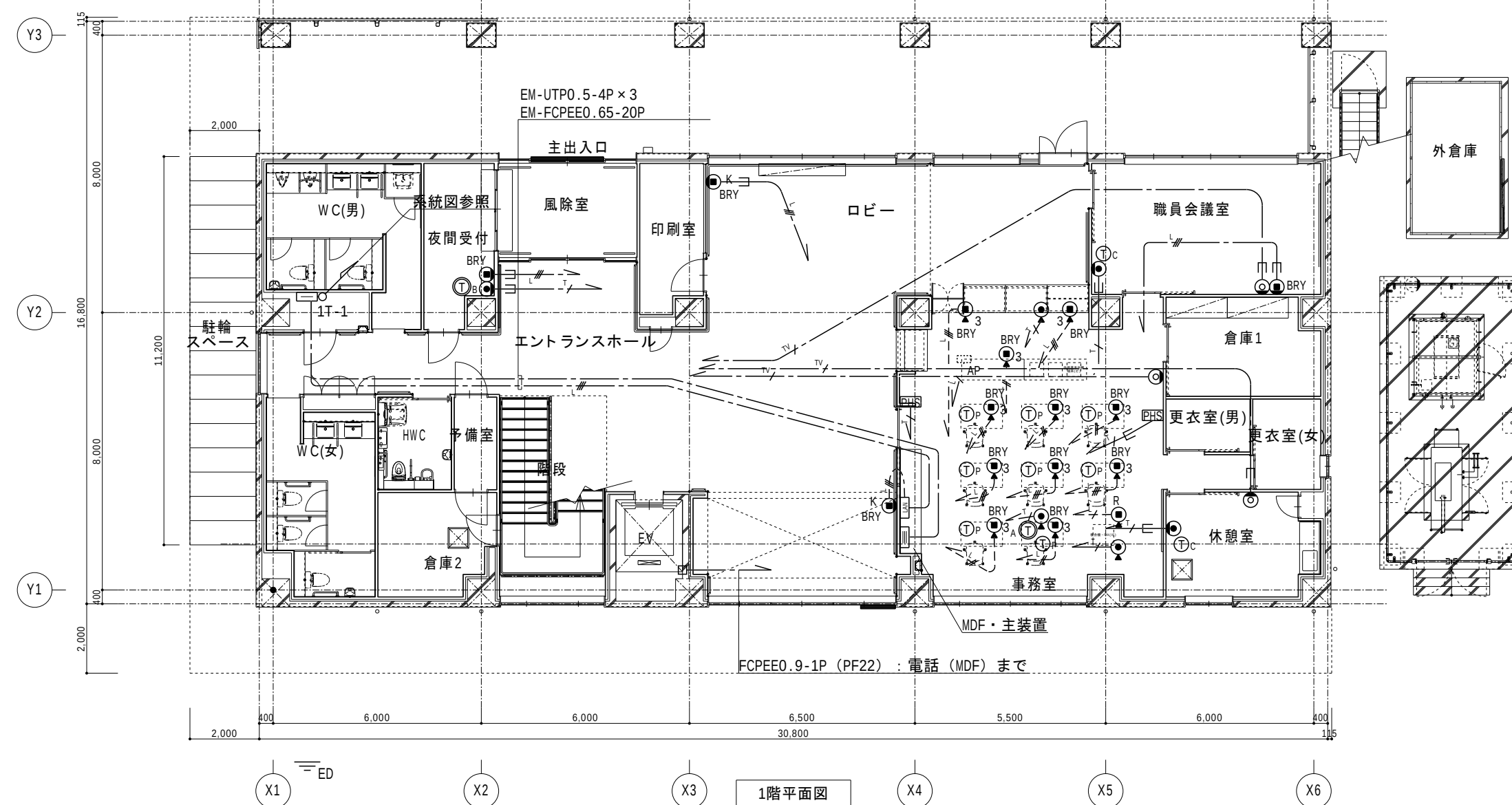
Y:黄色(開放系)

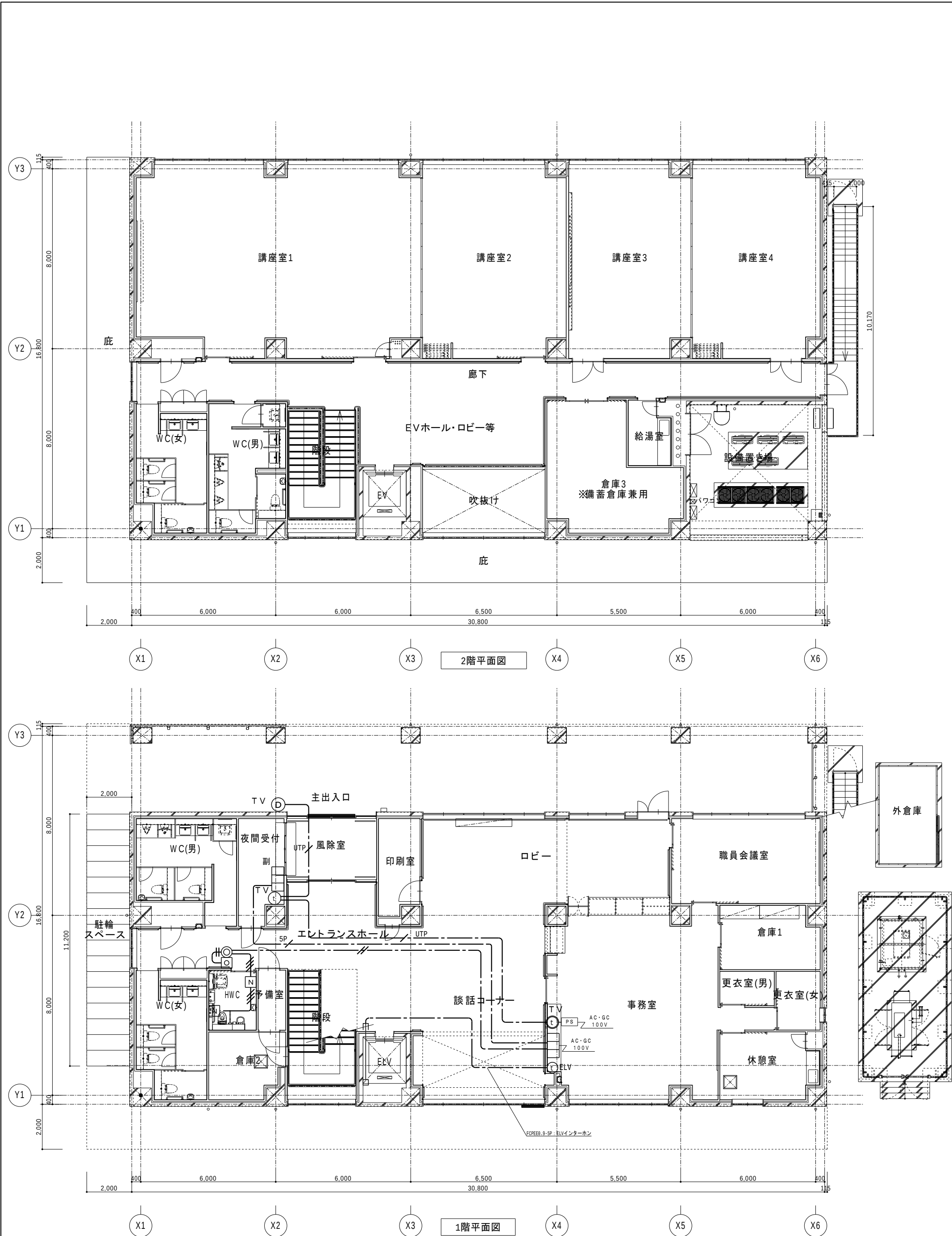
3)壁付アウトレットの「K」傍記は金属製鍵付きガードプレートとする。

4)各アウトレット・コンセントの位置は現場にて協議の上決定すること。

5)事務室のカウンター部は、露出型情報用アウトレットを設置すること。

6)事務室の二重床より取り出すLANケーブルは床から2m以上余長をとること。





呼出表示・インターホン設備 系統図

【インターホン設備 系統図】

主出入口 【夜間受付】 【事務室】 【ELV】

① ELV 埋込用インターホンボックスおよびインターホンは別途建築工事支給

【呼出表示設備 系統図】

HWC 【事務室】 【夜間受付】

注 記

- 二重天井内はケーブルロガシ配線とし壁立上げ引き下げ等はP F 管にて保護のこと。
- 防火区画及び令 1 1 4 条区画となる壁貫通処理は国土交通省大臣 認定工法による防火処理を施すこと。
- 特記なき配管配線は下記による

UTP	EM-UTP	CAT5E 4P	(PF16)
	EM-AE	0.9-2C	(PF16)
	EM-AE	0.9-3C	(PF16)
SP	EM-AE	0.9-5P	(PF22)

① TV カラーモニター親機

参考型番：JP-4MED

電源電圧	DC24V(電源アダプターより供給)
モニター	7型TFTカラー液晶
通話方式	拡声自動交互通話
録画機能	受話器：電話型同時通話 自動・手動録画、再生、保存
形 状	据置・壁取付両用型 (JIS2個用または3個用スイッチボックス) (卓上使用の場合、卓上スタンド(JPW-S)を使用する)
材 質	難燃性樹脂

① TV カラーモニター子機

参考型番：JP-4MD

電源電圧	DC24V(電源アダプターより供給)
モニター	7型TFTカラー液晶
通話方式	拡声自動交互通話/受話器：電話型同時通話
録画機能	据置・壁取付両用型(卓上使用の場合、 卓上スタンド(JPW-S)を使用する)
形 状	
材 質	難燃性樹脂

② TV カラーカメラ付玄関子機

参考型番：JP-DA

電源電圧	モニター付親機または映像伝送器・監視カメラ接続アダプターから供給
形 状	壁取付型(JIS1個用スイッチボックス)
材 質	自己消火性樹脂
カメラ	1/4型カラーCMOS
通話方式	自動交互通話
備 考	防塵・防まつ形(JIS C 0920 IP54 相当)

PS 電源アダプター

参考型番：PS-2428A

電源電圧	AC100V 50/60Hz
入力容量	110VA
出力電圧	DC24V
出力電流	2A
形 状	据置・壁取付(専用金具)両用
材 質	難燃性樹脂

N トイレ・浴室用押ボタン※引きひも付

参考型番：NBR-7HWA

形 状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)
材 質	自己消火性樹脂
備 考	引きひも式、押ボタン式両用

◎ 代表廊下灯

参考型番：NR-BZLB27

形 状	壁埋込型(JIS2個用スイッチボックス)
材 質	プレート：自己消火性樹脂 ランブカバー：ポリカーボネート
備 考	プザー付

☑ 復旧ボタン

参考型番：NBR-2A-C

形 状	埋込形(JIS1個用スイッチボックス)
材 質	樹脂
備 考	呼出確認ランプ付 呼出保持式

凡例

- AMP

:

非常業務兼用ラック型アンプ
- RM

:

非常業務兼用遠隔操作器
- RM

:

リモートマイク
- :

天井埋込型スピーカー
- :

天井埋込型スピーカー (A T T付)
- :

木製壁掛型スピーカー (A T T付)
- :

ワイドホーンスピーカー (5W)
- :

アッテネーター
- :

端子盤
- :

業務放送系統番号
- :

非常放送系統番号

注記

- 特記なき配線・配管は下記とする。
- EM-HP1.2-2C

(コロガシ配線)
- EM-HP1.2-3C

(コロガシ配線)
- EM-HP1.2-20P

(コロガシ配線)
- EM-HP1.2-10P

(PF22)
- EM-FCPEE-S1.2-5P

(コロガシ配線)
- EM-HP1.2-3P

(コロガシ配線) (カットリレー用)
- EM-HP1.2-3C

(PF16)
- EM-HP1.2-3C

(E19)
- EM-HP1.2-5P

(E25)
- ・

二重天井内の配線はケーブルころがし配線とする。
- ・

壁内等の配線の引下げ、立上り部はPF管にて保護とする。

■放送系統表

No.	非常 系統番号	業務 系統番号	系 統 名 称		スピーカー種類・員数						スピーカー 容量 (W)
			階	名 称 (放送エリア)	1W	1W	1W	5W		1W	
1	1	①	1	事務室他	5						5
2		②	1	エントランスホール他	1	6					7
3	2	③	2	講座室	4						4
4		④	2	ELVホール他		3	1				4
5	3	⑤		ELV						1	1
6	4	⑥		駐輪スペース				1			5
7		⑦		予備							
8		⑧									
9		⑨									
10		⑩									
スピーカー員数 合計 (台)					10	9	2	1		1	
スピーカー容量 合計 (W)					10	9	1	5		1	26

▽RF

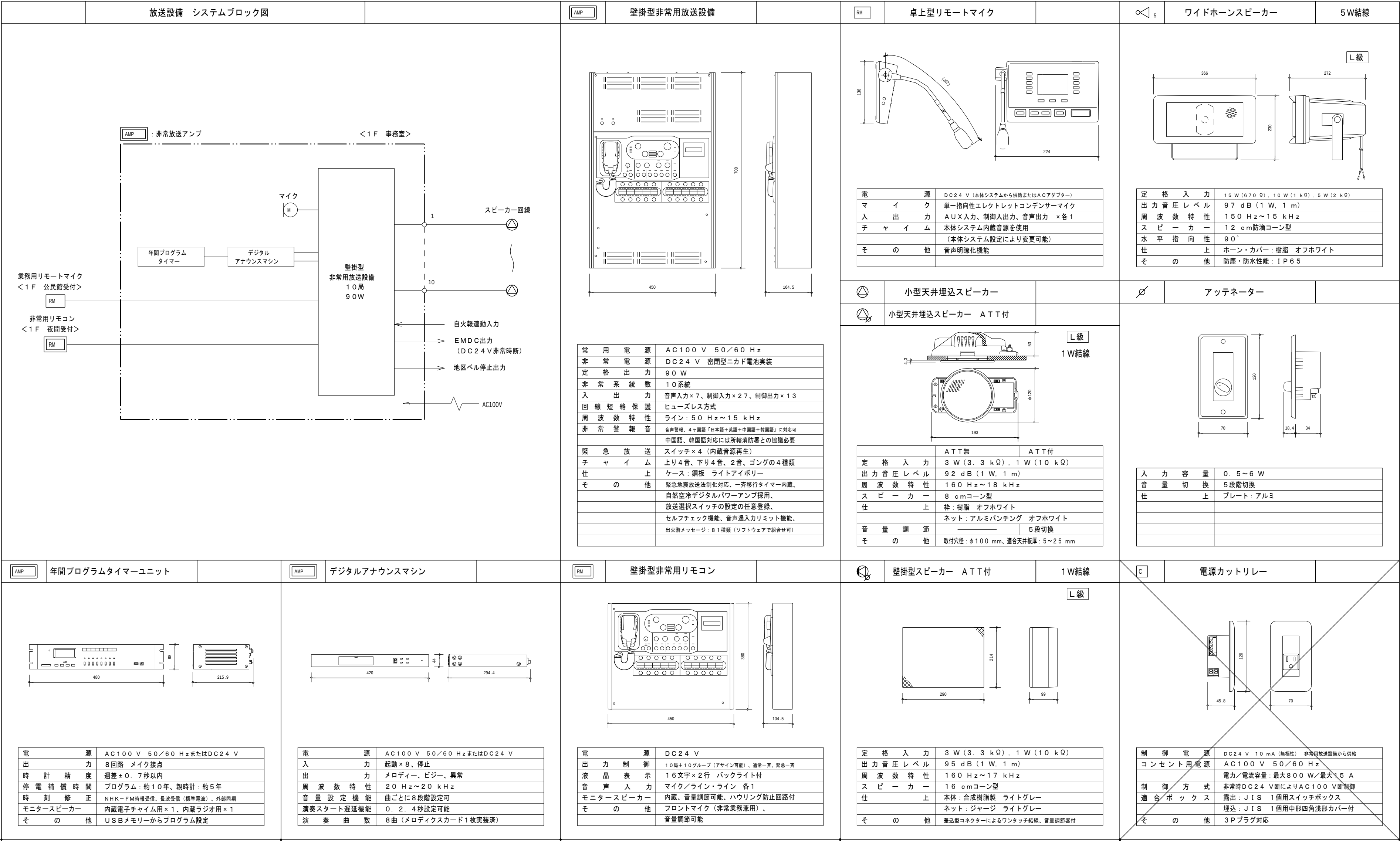
▽2F

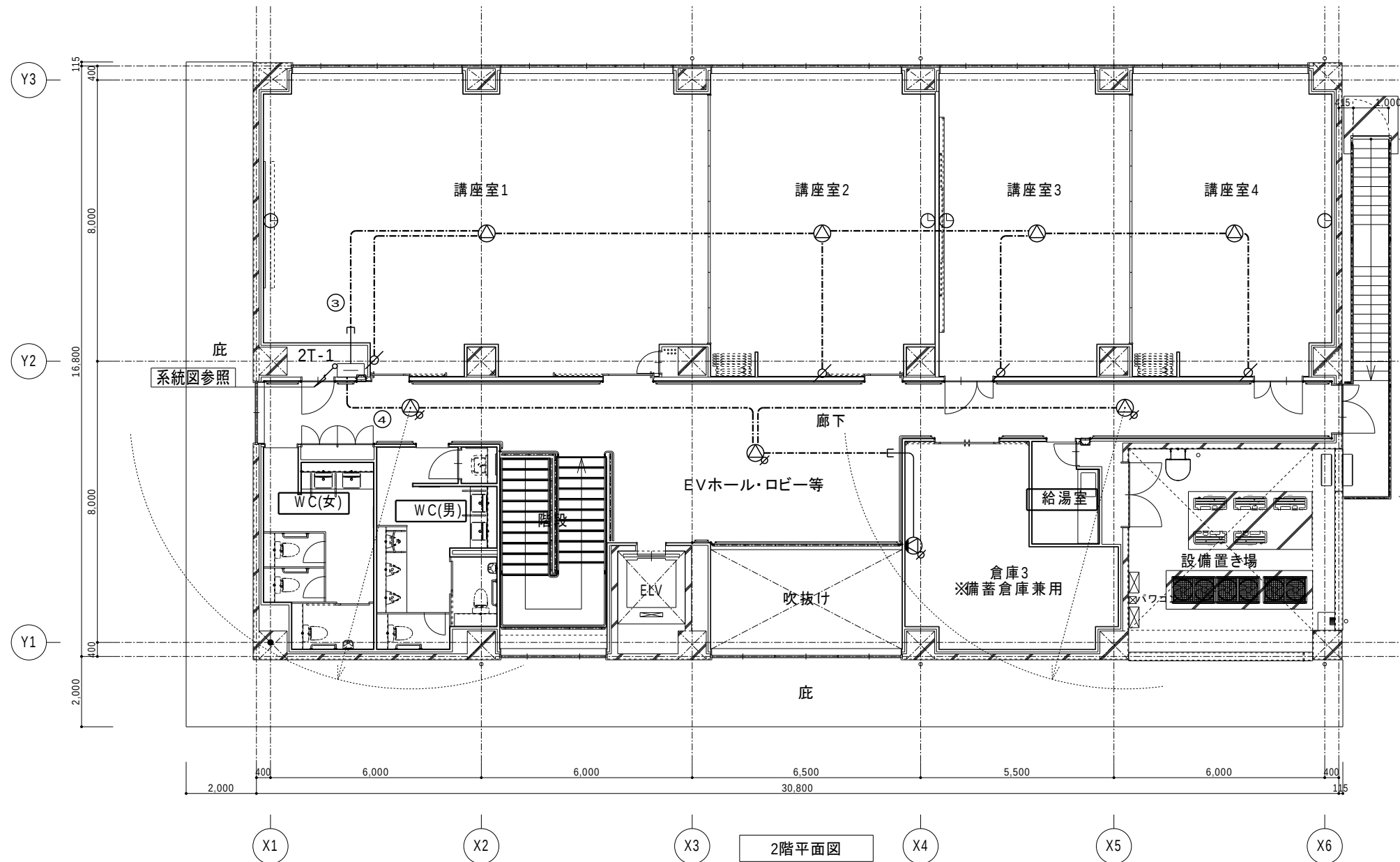
2

▽1F

1

放 送 設 備 系 統 図

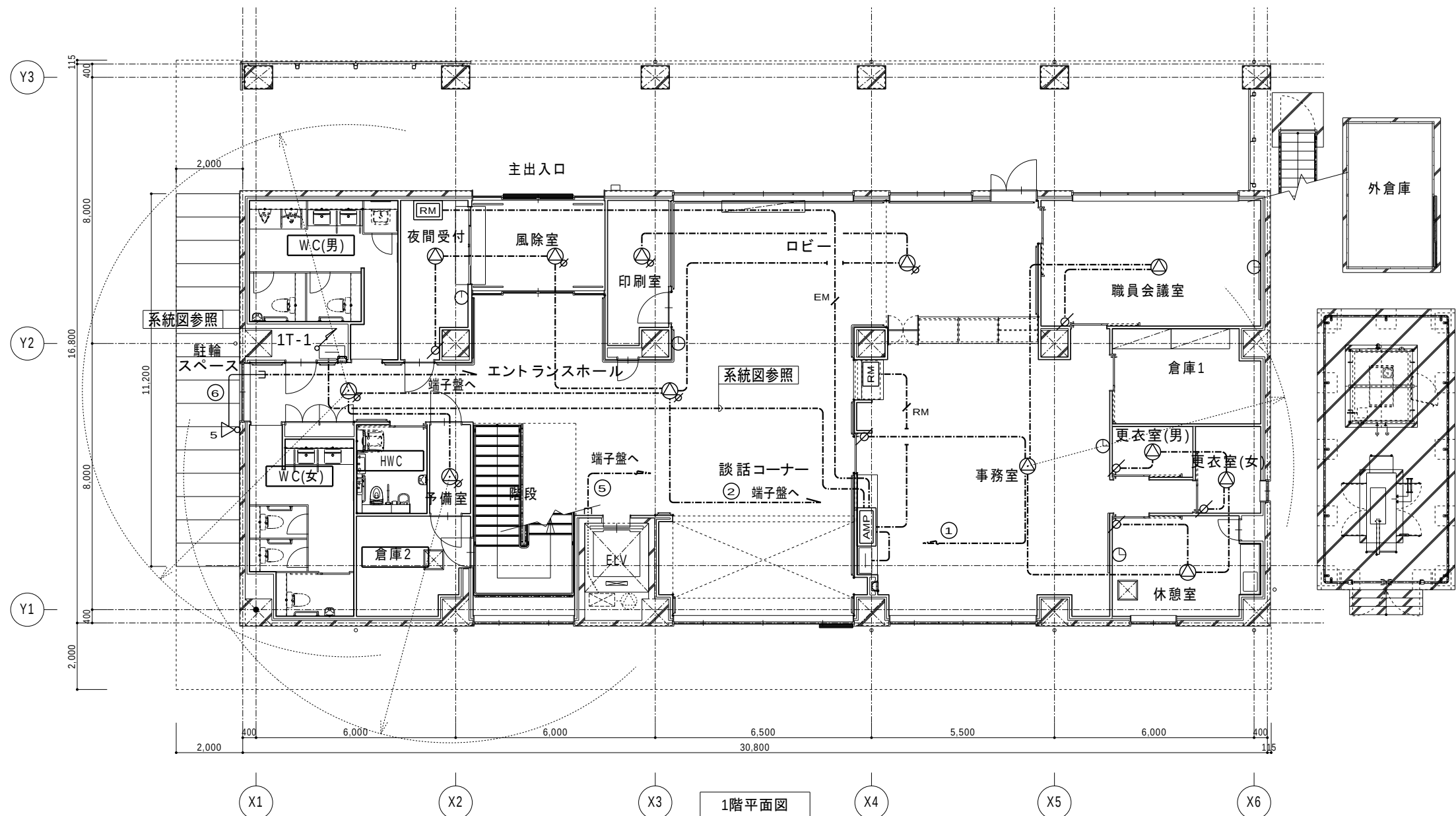




電波時計

壁掛式

電源電圧	単3アルカリ電池×4
形 状	銀色ヘアライン仕上げ(白)
材 質	枠:ステンレス 風防:ガラス製
寸法・質量	φ380×57mm/1.7kg
備 考	強化防滴・防塵型



凡例

- : 非常業務兼用ラック型アンプ
- : 非常業務兼用遠隔操作器
- : リモートマイク
- : 天井埋込型スピーカー
- : 天井埋込型スピーカー (A T T付)
- : 木製壁掛型スピーカー (A T T付)
- : ワイドホーンスピーカー (5W)

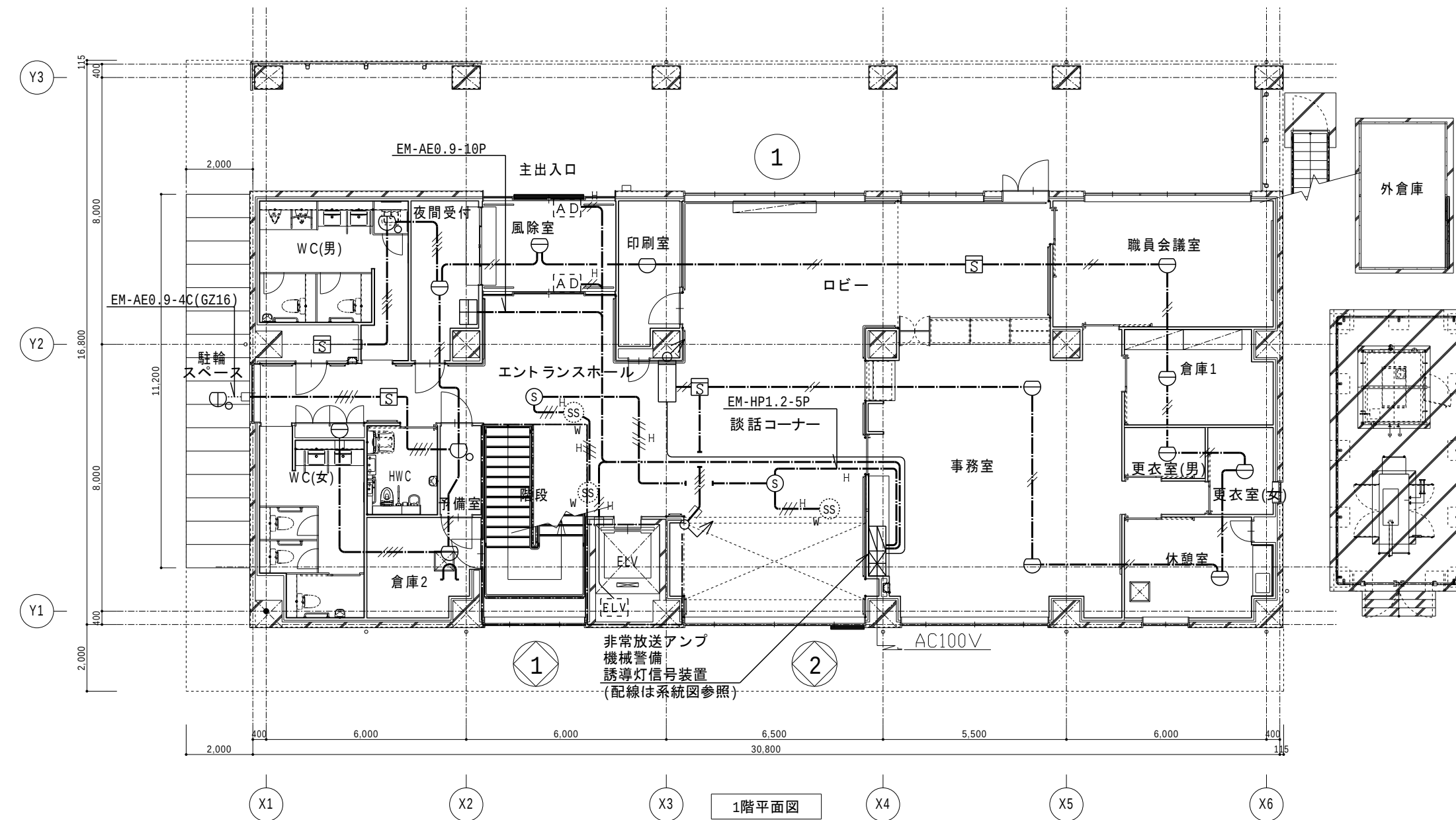
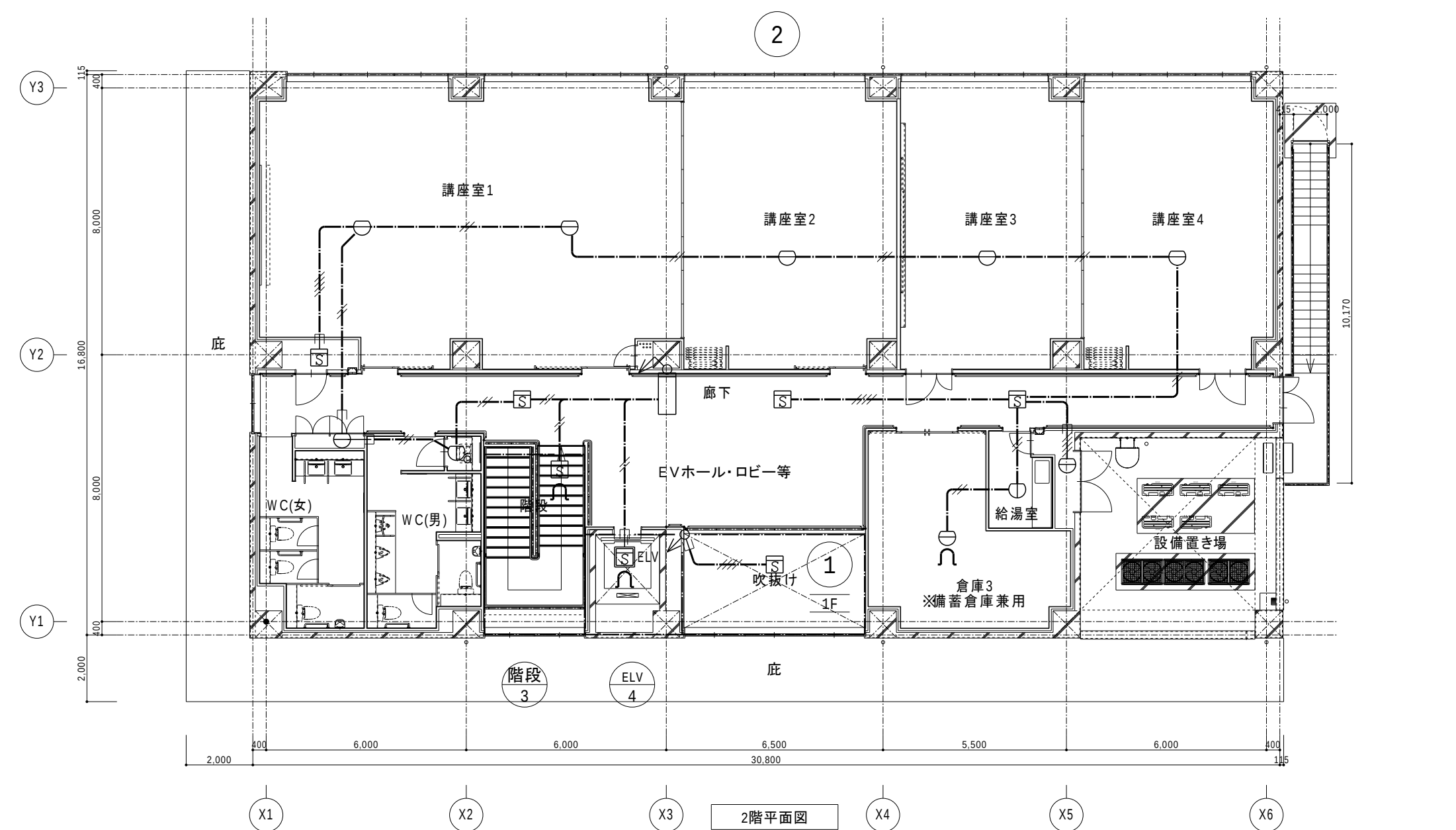
- : アッテネーター
- : 系統番号(業務用)
- : 端子盤
- : 壁掛型時計(乾電池式)

注記

特記なき配線・配管は下記とする。

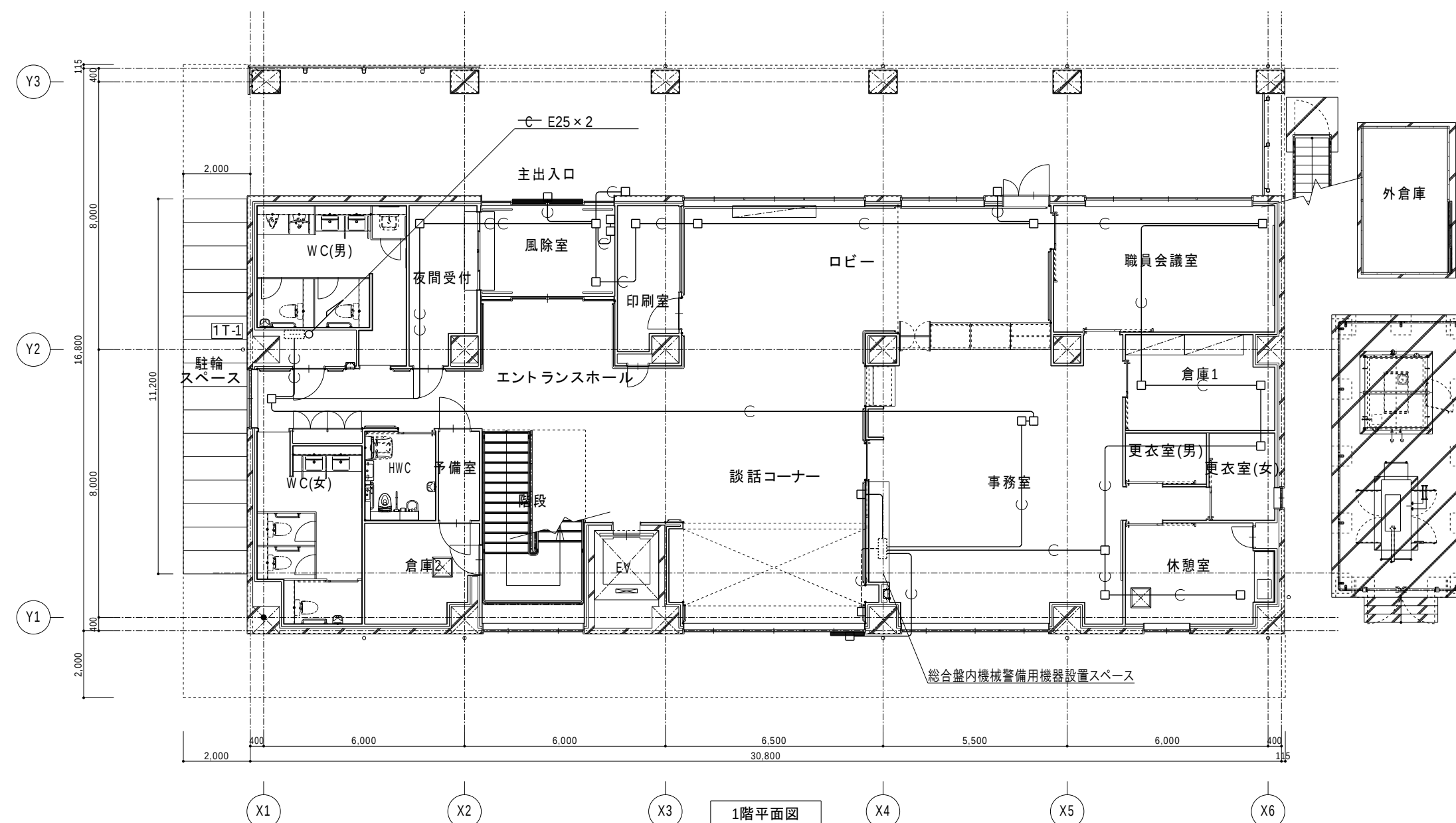
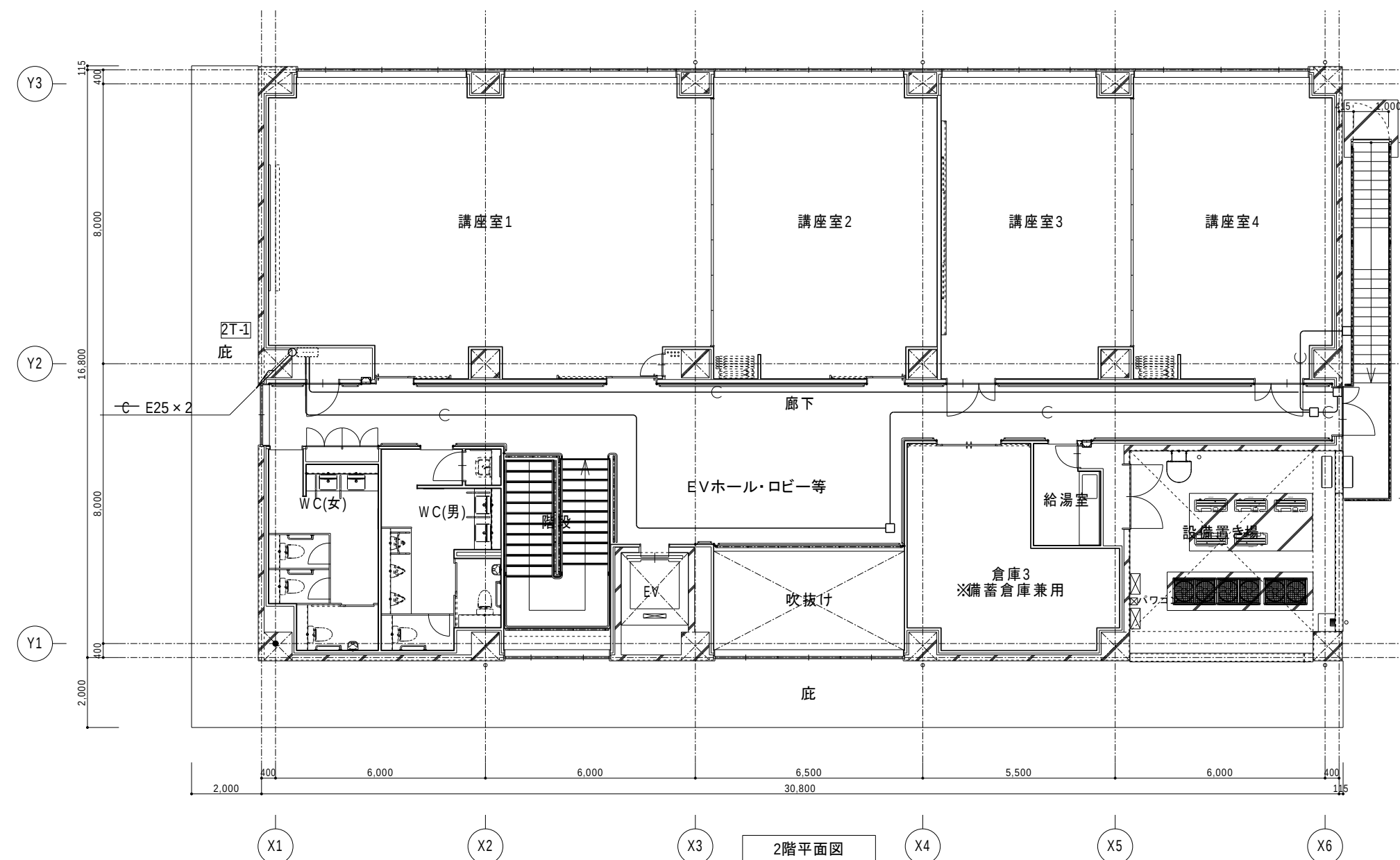
- EM-HP1.2-2C (コロガシ配線)
- EM-HP1.2-3C (コロガシ配線)
- EM-HP1.2-10P (コロガシ配線)
- EM-FCPEE-S1.2-5P (コロガシ配線)
- EM-HP1.2-3C (PF16)
- EM-HP1.2-3C (E19)

- ・二重天井内の配線はケーブルころがし配線とする。
- ・壁内等の配線の引下げ、立上り部はPF管にて保護とする。



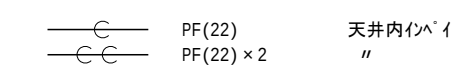
幹線(立上り、引下げ等)は系統図参照とする

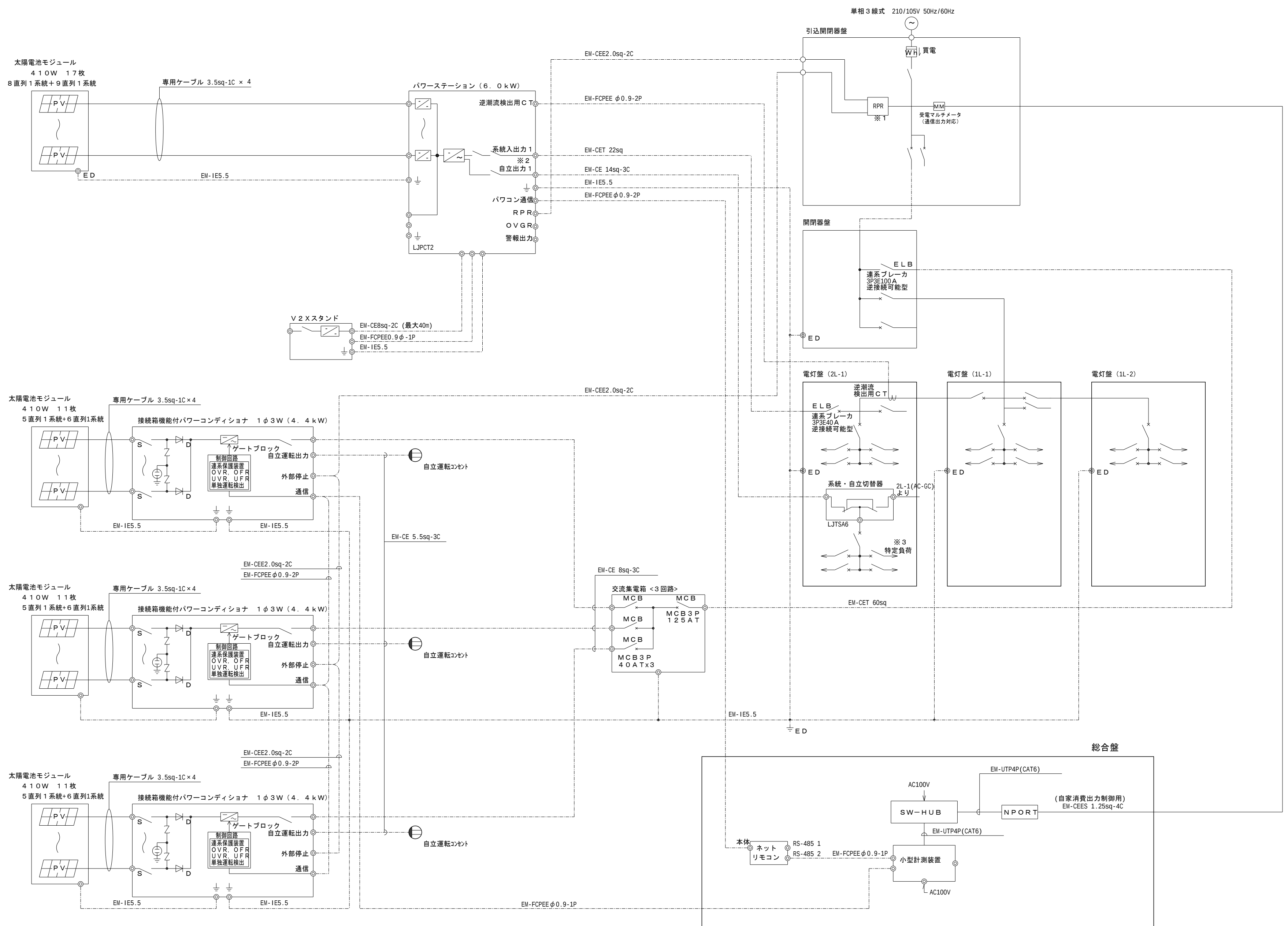
訂正	月	日	事項	株式会社 ユニバサル設計 UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		工事名称	仮称芳野市民センター新築電気設備工事			図面名称	自動火災報知設備 平面図	縮尺	A2:1/150 A3:1/210	図面No.	E-025
						設計者	一級建築士 登録第362398号 星野 康二	法適合確認結果等	作成	承認	部長 課長 担当 製図	設計No.					
									2025 年 2 月 17 日								

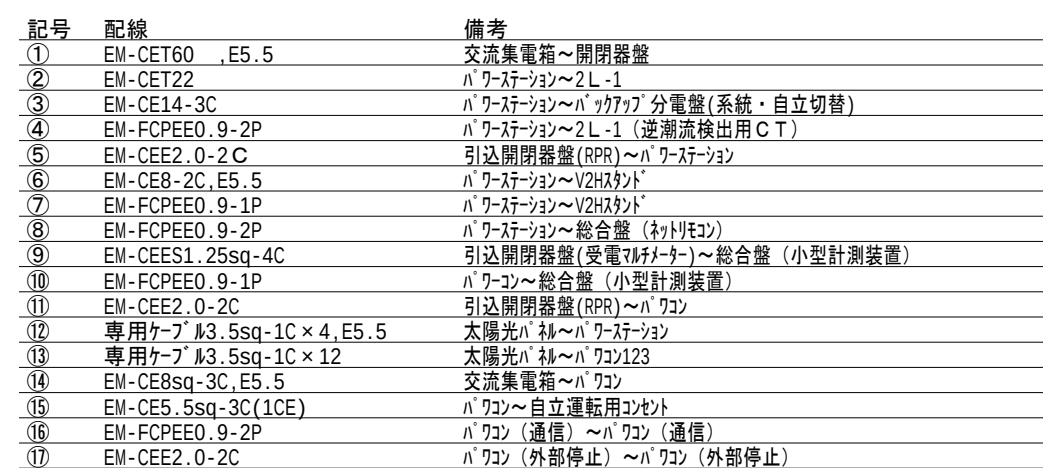
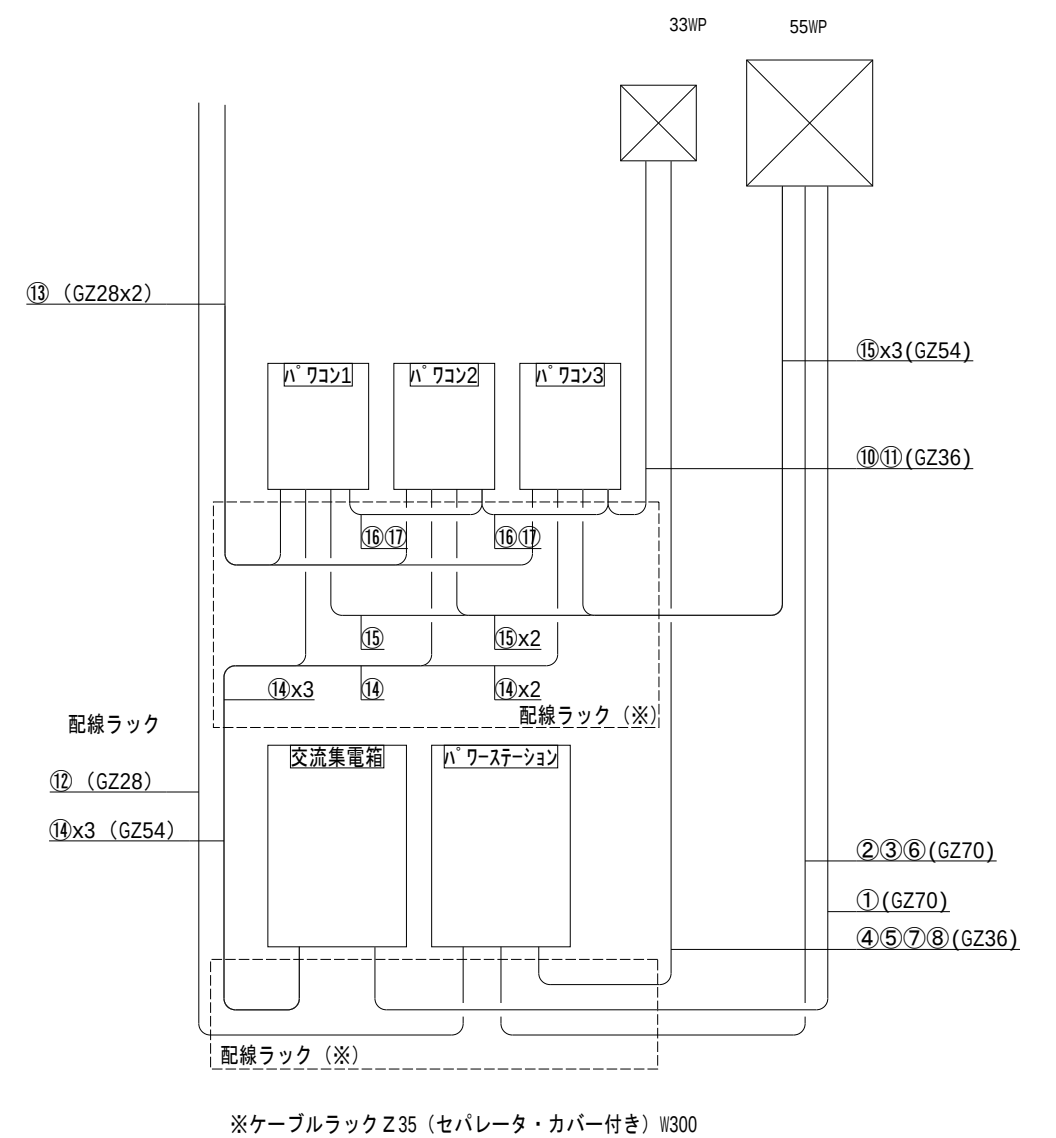


凡 例		
記 号	名 称	備 考
□	blankプレート 角	天井：丸、壁：角

図中特記なき配管配線は下記による(立上り・立下りは系統図参照)







※外壁露出配管はGZ管とする
※パワーコン周りの配線は、ケーブルラック（カバー付）に納めること

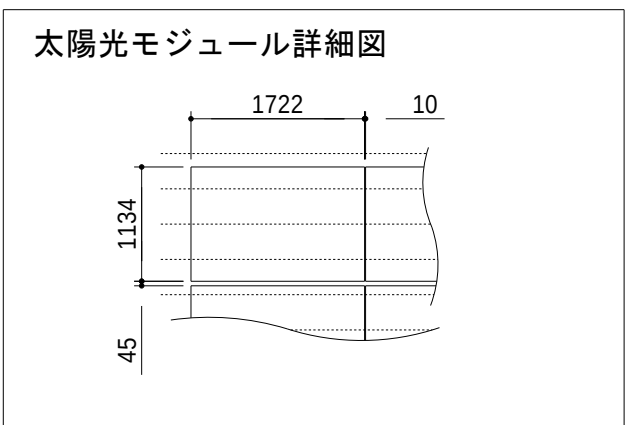
1.特記無き場合は下記とする。

-----	地中埋設
-----	天井内カゴ付
-----	壁立下り PF(22)

① 自立運転用キャビット 100V 2P15A×2 赤色プレート

☑ 33W	ブルボクス 300×300×300 SUS
☑ 66W	ブルボクス 600×600×600 SUS E端子付
☑ 55W	ブルボクス 500×500×500 SUS E端子付

F2:金具製可とう電線管(被覆付き)



訂	月	日	事	項	 株式会社 ユニバサル設計 UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号	工事名称	仮称芳野市民センター新築電気設備工事			図面名称	太陽光発電設備 屋根伏図		縮尺	A2:1/150 A2:1/210	図面No.	E-031
	正						設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二 法適合確認結果等	作成	2025 年 2 月 17 日	承認	部長 _____ 課長 _____ 担当 _____ 製図 _____	設計No.					